

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: システム推進課 課長名: 今井 稔

(単位:千円)			
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額	2,267,778	981,781	1,285,997

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
1 パスモ2026年度施策(早期)	33,766
(1 事業目的・内容)	
【事業目的】 ICカード「PASMO」の機能改善等を他事業者と統一するためのシステム改修	
【内容】 パスモではお客様の利便性向上として、PASMOの利用範囲拡大やサービス向上に取り組んでおり、 2026年度(早期)は運賃改定等の対応を予定しております。 これに伴って本市で設置しているパスモ対応機器のソフトウェア改造作業を行います。	
(2 前年度から変更・見直しした点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	
(5 補助対象の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
2 パスモ2026年度施策(年度末)	770,275
(1 事業目的・内容)	
【事業目的】 ICカード「PASMO」の機能改善等を他事業者と統一するためのシステム改修	
【内容】 パスモではお客様の利便性向上として、PASMOの利用範囲拡大やサービス向上に取り組んでおり、 2026年度(年度末)は他社線の駅名変更・運賃改定等の対応を予定しております。 これに伴って本市で設置しているパスモ対応機器のソフトウェア改造作業を行います。	
(2 前年度から変更・見直しした点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	
(5 補助対象の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: システム推進課 課長名: 今井 稔

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
3 改札機IC処理ソフトウェア利用許諾契約に基づく個別改訂版ソフトウェアの支払契約	30,289
(1 事業目的・内容)	
【事業目的】	
自動改札機でのPASMO、Suicaの利用環境の維持	
【内容】	
首都圏でのICカードの相互利用サービスに必要となる自動改札機のIC判定モジュールのソフトウェアに対して、施策改修により発生する機器設置台数分の利用許諾料を支出します。	
(2 前年度から変更・見直しした点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有
<input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額																					
4 改札機IC判定モジュール及び監視盤更新	200,596																					
(1 事業目的・内容)																						
【事業目的】																						
自動改札機のIC判定モジュール(ソフトウェア)の第3世代化(ICM3G化)および老朽化による機器更新																						
【内容】																						
首都圏でのICカードの相互利用サービスに必要となる自動改札機のIC判定モジュール(ソフトウェア)の第3世代化(ICM3G化)に対応するため、自動改札機のIC判定モジュールおよび監視盤(2014年度導入)の機器更新を行います。																						
・自動改札機のIC判定モジュールの更新																						
・監視盤の更新																						
(2 前年度から変更・見直しした点)																						
契約実績より、予算額の変更																						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)																						
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)																					
<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有																					
<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無																					
(6 年次表)																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>7年度予算</th> <th>8年度予算</th> <th>9年度予定</th> <th>10年度予定</th> <th>11年度以降</th> <th>総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>145,030</td> <td>200,596</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>345,626</td> </tr> <tr> <td>債務負担設定</td> <td>86,937</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>86,937</td> </tr> </tbody> </table>		7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額	事業費	145,030	200,596				345,626	債務負担設定	86,937					86,937
	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額																
事業費	145,030	200,596				345,626																
債務負担設定	86,937					86,937																

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: システム推進課 課長名: 今井 稔

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
5 自動駅務機器用AVR更新	

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

自動駅務機器用の自動電圧調整器(AVR)の老朽化に伴う更新

【内容】

当該機器は駅の自動駅務機器(券売機・チャージ機・精算機・改札機・窓口処理機・定期券発行機)に安定して電力を供給するために必要不可欠なもので、設置されてから30年以上が経過しており、老朽化しているため機器障害時の保守対応が困難となっているため、機器の更新を行います。

対象駅:湘南台駅、下飯田駅、立場駅、中田駅、踊場駅

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

【事業内容】	8年度予算額
6 高速ネットワーク機器更新	

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

高速ネットワーク機器の老朽化による機器更新

【内容】

市営地下鉄の各駅、保守管理所および駅務管理所のYCANネットワークおよび、自動駅務機ネットワークに関する機器が設置から5年以上(ブルーライン:6年、グリーンライン:5年)が経過しており、老朽化しているため機器障害時の保守対応が困難となっているため、機器の更新を行います。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: システム推進課 課長名: 今井 稔

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
7 定期券発行機クレジット決済端末更新	

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

定期券発行機に搭載するクレジット決済端末の更新

【内容】

現在、市営地下鉄の各駅およびサービスセンターに設置している定期券発行機に接続するクレジット決済端末が生産終了しており、機器障害時の保守対応が困難となっているため、機器の更新を行います。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
8 地下鉄後方業務支援システム改修	

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

地下鉄後方業務支援システムの改修

【内容】

地下鉄後方業務支援システムサーバは下記のシステムが構築されており、乗務管理システムにおいて、機能改善に伴うシステム改修を行います。

- ・駅務管理システム(駅の物品管理、乗車券管理、遺失物管理など)
- ・乗務管理システム(乗務管理、教育訓練管理など)
- ・司令管理システム(総合司令所の業務管理)
- ・施設管理システム(保守管理所の業務管理)

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: システム推進課 課長名: 今井 稔

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
9 QR乗車券対応券売機更新	0

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

磁気乗車券からQR乗車券への移行に向けた、QR乗車券対応の券売機への更新

【内容】

既存の券売機の機能から磁気乗車券の発行機能を除外し、QR乗車券システムと連携し、QRコードを印字した乗車券が発行可能な券売機に更新します。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
10 QR乗車券システム導入	0

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

磁気乗車券からQR乗車券への移行に向けたQR乗車券システムの構築

【内容】

自動駆動機器で発行するQR乗車券の有効なQRコードの発行、自動改札機の通過判定、不正乗車の判定、乗車券の発行枚数の集計等のQR乗車券を管理するシステムを構築し、導入します。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: システム推進課 課長名: 今井 稔

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
--------	--------

11 QR乗車券対応窓口処理機購入

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

磁気乗車券からQR乗車券への移行に向けた、QR乗車券対応の窓口処理機の購入

【内容】

QR乗車券システムと連携し、QRコードを印字された乗車券の状態確認、精算処理、発行機能を有する窓口処理機を購入します。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

【事業内容】	8年度予算額
--------	--------

12 タッチ決済対応改札機の増設

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

タッチ決済のサービス拡充に向けたタッチ決済対応改札機の増設

【内容】

市営地下鉄の自動改札機でタッチ決済が利用可能な改札機を増設するため、タッチ決済リーダの設置および、設置に伴う自動改札機の改修を行います。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: システム推進課 課長名: 今井 稔

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
13 PASMOリプレイスに伴う集計装置改修	

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

PASMOサーバのリプレイスに伴う集計装置の改修

【内容】

PASMOサーバは株式会社パスモが管理しているサーバで、ICカードの購入情報、通過履歴および売り上げに関するデータを管理したり、各事業者間の精算を行う機能を有しており、2026年度に更新(リプレイス)を予定しています。

サーバーのリプレイスに伴い、サーバと連携している集計装置の連携方法が変更するため、改修を行い対応します。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

【事業内容】	8年度予算額
14 経路時刻表検索システム等改修業務委託	

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

経路検索、時刻表検索、バス接近情報、列車走行位置等の情報提供の改善を行います。

バス・地下鉄の運行情報の発信について改善を行います。

運行情報を発信する業務について、現場オペレーションを改善します。

【内容】

経路・時刻表検索やバス接近情報、列車走行位置等の情報を提供している経路時刻表検索システムと、バスや地下鉄の運行情報を発信している緊急情報システムの改修を行います。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: システム推進課 課長名: 今井 稔

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
15 事務改善システム仕様変更業務委託	

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

人事給与・勤務実績・旅費管理・財務会計の各システムを統合した、事務の効率化を図るためのシステムです。

【内容】

人事給与・旅費管理・財務会計のシステムにおいて、制度改正等の改修を実施します。

支出回議書の電子化の設計を行います。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

【事業内容】	8年度予算額
16 ADサーバ更新	

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

Active Directory(AD)サーバは、Windows環境におけるユーザー認証・アクセス管理・ポリシー適用などを一元的に行うためのサーバです。セキュリティと運用効率を高めるために重要な役割を担います。

【内容】

現行サーバのOSが2027年1月にサポート期限を迎えるため、機器を更新します。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: システム推進課 課長名: 今井 稔

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
17 テレワーク端末購入	

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

職員が出張先や外出先でも円滑に業務を行えるようにするために、モバイル通信(SIMカード)に対応した端末を導入しています。

【内容】

現行の端末が購入から約6年を経過しているため、機器を更新します。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
18 地下鉄GTFS提供システム改修業務委託	

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

地下鉄のリアルタイムの走行位置をオープンデータとして提供するシステムです。

【内容】

現在、列車走行位置ページにおいて、ダイヤ乱れ時に大半の車両が表示されなくなってしまうという問題があるため、改修します。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 資産活用課 課長名: 星野 尊

(単位:千円)			
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額		3,465	

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
1 広告管理システム改修	

(1 事業目的・内容)

広告管理システムの機能を改善・追加することで、事務改善を図ります。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 安全教育センター 課長名: 松本恵里子

(単位:千円)			
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額		0	

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
1 VR教育教材の導入	

(1 事業目的・内容)

- 鉄道技術者の教育において実施してきた、従来の座学中心の一方的な知識伝達教育に加え、実践的かつ参加型の教育手法を付加導入することを目的とした教育ツールの導入を行います。
- 導入する教育ツールは、鉄道総合技術研究所が開発した教育機材「ヒューマンファクター分析法マニュアル」で、鉄道現場での人間の行動特性や認知特性を科学的に分析し、事故防止や安全性向上に資する教育を実現する教育ツールです。
- 実際の事例に基づいたシミュレーションやグループワークを通じて、受講者が主体的に考え、行動する力を養うことができる構成となっており、鉄道技術者の育成において極めて有効かつ効果が得られるものです。

【期待する効果】

- ・受講者の主体的な学びを促進し、教育効果の向上に繋げる。
- ・実践的な訓練により、現場対応力能力を強化する。
- ・安全意識の向上と事故防止への意識をマンネリ化させない。
- ・教育の標準化と体系化による人材育成の効率化を実現。

(2 前年度から変更・見直しした点)

教育に対する課題意識(現場の声)

- これまでの教育後に実施した「振り返り感想文」などからは、以下のような意見が現場から上がっています。
- ・座学の一方的な教育はつまらない。
- ・行動、グループワークなど実技を伴う教育が良い。
- ・実際の現場に沿った教育が望ましい。

これらの意見を参考に、これから教育の効果をより高めていくために、受講者の能動的な教育が不可欠であると判断し、本事業を実施するものです。



(3 根拠法令・規程、現場の意見)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費	所属: 営業課(高速)
目: 05 改良費	課長名: 中野 志帆

(単位:千円)			
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額		5,782	

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
1 センター南駅ベビーケーススペースのリформ	7,700
(1 事業目的・内容) 令和元年から券売機付近の部屋をベビーケーススペースとして運用しています。現在、ひと月の利用件数が数件程度に留まっており、当該設備を十分に活用できていない状況です。 令和6年度から導入している他駅のベビーケーススペースはひと月で2、30件程度利用されていることを考慮すると、駅でのベビーケーススペースに対して一定のニーズがあると判断しています。 子育て中のお客様がより安心して市営地下鉄を利用できる環境づくりを目的に、既存設備のリформを行います。	
(2 前年度から変更・見直しした点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 営業課(高速) 課長名: 中野 志帆

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
2 授乳スペースの設置	

(1 事業目的・内容)

お子様連れのお客様により安心して市営地下鉄をご利用いただくため、既に授乳スペースを設置している5駅(日吉本町駅、あざみ野駅、センター北駅、センター南駅、仲町台駅)に加えて、一部の駅に授乳スペースを新たに設置します。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 運転課 課長名: 津島 真

(単位:千円)			
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額		10,121	

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
1 個人型起床装置の増備	
(1 事業目的・内容)	
起床装置とは、設定した時間になると寝ている者の半身を強制的に起こす装置であり、各乗務管理所及び信号扱所、仮泊駅等の乗務員が仮眠をとる施設に設置し乗務員が寝坊することを防止しています。 設置している起床装置のうち、乗務管理所・信号扱所に設置している集中型起床装置は機器の更新が必要な状態ですが、更新費用が高額であるため、集中型起床装置は更新を行いません。 内訳:上永谷基地信号扱所 16台、新羽乗務管理所 10台、新羽基地信号扱所 20台 合計46台	
(2 前年度から変更・見直しした点)	
前年度に更新を行わなかったため、今年度に更新を行います。増分は改良工事に伴う増床分です。	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 運転課 課長名: 津島 真

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
2 4号線運行管理装置の更新に伴う司令端末の増設及び改修	0

(1 事業目的・内容)

4号線の運行管理装置の更新に伴い、端末の追加や新機能の追加を行います。
 運行管理システムは、運輸司令業務の効率化と旅客案内サービスの向上をはかるために、
 電子計算機を使用して列車の運行制御、運行実績記録、在線状況表示、案内放送および案内表示の制御を自動的に行う装置です。
 4号線運行管理システムは、中央装置・駅装置のどちらもグリーンライン開業(平成20年)から運用しており、
 メーカーの交換推奨期間は15年のところ、稼働開始から17年が経過しています。
 システムを構成する計算機の製造は既に終了しており、部品が入手できないため修理が不可能となっている基板が装置内に存在します。
 以上の理由から、運輸の安定性を維持するため、これらの機器を新規に製作して交換します。
 4号線運行管理システムの特徴として、総合司令所に中央処理装置を、各駅に駅装置を設置する構成となっています。
 中央処理装置は、駅装置を通して各駅の信号機器等と直接通信しています。
 中央処理装置と駅装置の間は保安に関する重要な情報の伝送を行っており、新旧の機器や通信方式が混在した場合には予期しない動作をする恐れがあるため、中央処理装置及び駅装置の両方を交換します。
 また、自動放送装置についても既設のモデルは製造が終了しているため、中央処理装置の通信方式に対応した機種に交換します。
 ※更新は令和8年度に行い、支払いは令和9年度になります。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 運転課 課長名: 津島 真

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
3 乗務管理所改良工事に伴う仮眠室増床分のベッド購入	
(1 事業目的・内容) 令和8年度に改良工事が行われる上永谷基地信号扱所、新羽乗務管理所、新羽基地信号扱所の仮眠室増床分のベッドを購入します。 内訳:上永谷基地信号扱所5台、新羽乗務管理所 10台、新羽基地信号扱所 12台 合計27台	
(2 前年度から変更・見直しした点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
4 川和乗務管理所改良工事に伴う個人型ロッカーの更新	
(1 事業目的・内容) 川和乗務管理所の改良工事に伴い、開業から18年使用している既設のロッカーをダイヤル式のロッカーに更新します。 内訳:係員18名、乗務員68名 合計86名 2連ワイドロッカー44台	
(2 前年度から変更・見直しした点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 総合司令所 課長名: 三浦 美喜雄

(単位:千円)			
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額	480	0	480

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
1 基地改良工事に伴う女性エリア整備のための什器購入	480
(1 事業目的・内容)	
<ul style="list-style-type: none"> 将来的な女性職員の配属に向け、基地改良工事に伴い総合司令所内に女性エリアを新設します。 新設する女性エリアに女性職員用ロッカー等の什器を整備し女性職員の受け入れ態勢を整えます。 	
(2 前年度から変更・見直しした点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
(5 補助対象の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 駅務管理所 課長名: 矢澤 洋平

(単位:千円)			
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額	39,790	23,507	16,283

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
1 空気呼吸器更新	

(1 事業目的・内容)

現在配備中の空気呼吸器の多数が、メーカーの修理基準(15年)を経過しており、1年に1回の定期点検で不具合があった場合に修理ができないため、一定数ずつ更新します。

【空気呼吸器本体】

1998年製…5台 (R7年度更新予定)

2000年製…8台

2001年製…18台

2002年製…3台

2008年製…3台

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成14年3月8日付国鉄技第157号「鉄道に関する技術上の基準を定める省令等の解釈基準」
別冊1「鉄道に関する技術上の基準を定める省令の解釈基準」

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 駅務管理所 課長名: 矢澤 洋平

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
2 地下鉄各駅設置 金庫更新	

(1 事業目的・内容)

地下鉄各駅に設置されている金庫について、経年劣化により不具合が生じるケースが多くなりその都度修理を依頼していますが、すでにメーカー側の保守が終了している金庫もあるので、修理不能になった場合に金庫を新規購入します。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

【事業内容】	8年度予算額
3 電気式給湯器 更新	

(1 事業目的・内容)

地下鉄の地上駅以外は、電気式給湯器により温水の使用をしていますが、経年劣化により故障した際代替品の購入を経費から行っていましたが、近年、電気式給湯器の価格が1台で10万円以上となつたため、R6年度から建築改良費に計上しています。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 駅務管理所 課長名: 矢澤 洋平

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
4 IP無線機 (湘南台駅・関内駅・センター南駅・あざみ野駅)	

(1 事業目的・内容)

現在、駅係員間の意思伝達は主にPHSを使用していますが、湘南台駅においては改札外の電波状況が悪く、異常時や終車時の連絡に支障をきたしているためIP無線機を新規設置します。

また、関内駅、センター南駅ではデジタル無線機を使用していますが、経年劣化により更新の時機を迎えていため、IP無線機への切替更新を行います。

湘南台駅 ……5台
関内駅 ……8台(イベント開催時における応援者用2台を含む。)

センター南駅…6台
あざみ野駅 ……6台

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 駅務管理所 課長名: 矢澤 洋平

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
5 車椅子スロープ収納箱	

(1 事業目的・内容)

車椅子をご利用のお客様を、乗降介助する際に駅職員が使用するスロープは、駅事務室や案内所から手で運搬することから、構内混雑時などにお客様と接触しけがを負わせてしまう恐れがあるため、ホームに収納箱を設置することで安全・迅速に対応します。

設置予定

関内駅、センター南駅

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 駅務管理所 課長名: 矢澤 洋平

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
6 バックヤード防犯カメラ設置業務委託	

(1 事業目的・内容)

駅構内における様々な犯罪抑止及びこれに類する行為への対策として、令和6年度からバックヤード防犯カメラを設置を進めています。令和8年度では新たに14の駅に設置委託予定のため、費用を計上します。以降残りの駅も順次設置していきます。

令和6年度…横浜駅

令和7年度…新横浜駅、上大岡駅、戸塚駅、センター北駅

令和8年度…日吉駅、あざみ野駅、関内駅、湘南台駅

北新横浜駅、舞岡駅、都筑ふれあいの丘駅、北山田駅、東山田駅、高田駅、日吉本町駅、中田駅、下永谷駅、下飯田駅

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 上永谷乗務管理所 課長名: 石津 昌一

(単位:千円)			
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額		3,400	

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
1 上永谷乗務管理所 鍵付きドア型パーテーション設置業務委託	

(1 事業目的・内容)

上永谷乗務管理所の仮眠室エリアに設置されている女性職員用設備(仮眠室)スペースについて、現在は通路内という場所柄、すぐに取り外しや移動ができる簡易的な仕切を使って区切っています。これらの簡易的な仕切について、すぐに取り外せるという性質上、セキュリティ面が不十分なため、新たに通路内に鍵付きパーテーションの設置を委託します。

(2 前年度から変更・見直しした点)

全ての職員が働きやすい職場環境の整備の観点から予算を計上します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

女性職員用設備に対するセキュリティ面として現状不十分なため、駅仮泊施設と同様に女性用設備の強化を図ります。

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 川和乗務管理所 課長名: 杉山 登基

(単位:千円)			
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額		0	

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
1 川和乗務管理所改修工事に伴う什器購入	
(1 事業目的・内容)	
令和7年度末から川和乗務管理所の改修工事が始まります。 新設される係員室、女性専用施設、ダイニングルーム等に使用する什器の購入と経年劣化が激しい什器の交換を行います。	
購入予定什器	
○冷蔵庫(大)係員休憩室、運転士休憩室用 ○冷蔵庫(中)信号扱所用 ○フラットタイプテーブル ○アームチェア ○ソファー	
(2 前年度から変更・見直しした点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)			
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額	2,857,321	1,311,591	1,545,730

(単位:千円)		
【事業内容】		8年度予算額
1 4000形2次車製造		313,291

(1 事業目的・内容)

ブルーライン既存車両3000形シリーズは、車体や台車の製造年数が経過し寿命を迎えつつあります。S形の台車は2000形からの流用品で約44年となり、今後、更新不可能な機器や部品の発生に伴い故障対応も困難になることが想定されるため、新型車両への置き換えを実施することとします。近年の技術革新に伴う様々な新技術も検討し導入方法や範囲を十分精査したうえで、将来的な視点を持った車両仕様とします。

工程

年度		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	合計
新型車両	準備	検討	検討 発注	設計 製造	設計 製造					
	納入予定					1編成	3編成	3編成	1編成	8編成
	既存車両	廃車予定								
						-----	-----	-----	-----	

(2 前年度から変更・見直しした点)

年度ごとに予算配分見直し(契約決定に伴う)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・ブルーライン車両改良投資計画(平成20年度～平成40年度)
- ・既存車両の寿命に伴う車両安全確保のため

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	440,000	313,291	2,801,247	5,172,629	6,885,639	15,612,806
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
2 3000R形機器更新	2,002,748

(1) 事業目的・内容

3000R形は2003年に製造され、現在14編成(84両)が運用しています。当該車両は2023年で製造から20年が経過したため、2022年までに電機品の一部機器更新を実施しましたが、2035年頃まで車両を使用する計画となっています。電子部品の劣化や使用部品の製造終了が想定されるため、電機品の機器更新を実施します。

(1) 更新計画

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11
更新計画	契約 設計 製造	設計 製造	更新	更新	更新	更新
			4編成	6編成	2編成	2編成

(2) 更新対象装置

- ・VVVF(主回路制御装置)
- ・ATC/O(自動列車制御装置/自動列車運転装置)
- ・ブレーキ装置
- ・SIV(補助電源装置)
- ・空調装置
- ・列車無線装置
- ・放送装置
- ・表示装置

(2) 前年度から変更・見直しした点)

- ・継続事業(債務負担設定済)
- ・変更なし

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両安全確保のため
- ・車両老朽化や電機品の製造終了に対応するため

(4) 除却資産の有無)

(5) 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6) 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費		2,002,748	3,004,122	1,001,374	1,001,374	7,009,618
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
3 ブルーライン車内防犯カメラ設置	

(1 事業目的・内容)

列車内でお客様の安全を脅かす事件が相次いで発生しており、車内安全強化のため、2022年より運用を開始したブルーライン4000形車両に車内防犯カメラの導入をおこないました。地下鉄車内の更なる防犯対策強化のため、既存車両への設置・拡大について、試行導入を行い検討・実施します。

・更新計画

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
3000N (6編成)				
3000R (14編成)	試行導入の実施	既存車への設置	→	→
3000S (6編成)		→	→	→
3000V (1編成)		→	→	→
4000 (8編成)	全車導入完了	更新の検討	→	→

①3000A形は対象外とします。

②防犯カメラタイプはリアルタイムカメラを採用します。

導入計画

R6年度 6編成 S形
R7年度 21編成 N形、R形
R8年度 1編成 V形

(2 前年度から変更・見直しした点)

継続事業
対象編成

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和3年8月の小田急線、10月の京王線車内で発生した傷害事件を受け、各種非常用設備の表示の共通化、車内における防犯関係設備の充実に向けた議論が行われ、その中で他人に危害を及ぼすおそれのある行為などを抑止する効果を高めるために車内防犯カメラの設置を義務付ける規程の改正が検討され、令和5年10月に規程の一部が改正されます。

①適用範囲 新幹線の車両又は輸送密度10万人以上の線区を走行する車両

⇒横浜市交通局では、高速鉄道1・3号線(ブルーライン)が該当

②適用車両 省令の施工の日前に製造に係る契約が結ばれた車両については、車内防犯カメラの設置義務付けの適用対象外とする。

⇒横浜市交通局では、今後契約するブルーライン車両が設置義務に該当

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	99,000					
債務負担設定	7,700					7,700

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
4 3000形ATO制御装置伝送カード購入	5,940

(1 事業目的・内容)

ATO制御装置は製造から20年が経過し、2018年に機器の一部更新をおこないましたが、更新対象外である伝送カード(TRC基板)を起因とする不具合が多く発生しています。【R3年度 1件、R4年度 1件、R5年度 2件、R6年度 4件※R6年7月時点】
対応策として2021年にTRC基板およびCPU基板(TRC対応基板)を予備として7編成分14セット購入し、故障処置をおこなっていますが、令和6年度は7月の時点で4件の故障が発生しており、予備残数8セットとなりました。今後も故障件数の増加が想定されるため、TRC基板およびCPU基板の購入をおこないます。購入枚数は今年度故障実績(1ヶ月に1セット)を参考に12セット購入します。

(2 前年度から変更・見直しした点)

- ・継続事業(債務負担設定済)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・安全性向上
- ・車両性能維持

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費		5,940				5,940
債務負担設定	8,485					8,485

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
5 10000形車両列車無線装置更新	228,800

(1 事業目的・内容)

グリーンラインでは、発報機能の2重化として携帯防護無線機を携行して運行しています。この携帯防護無線機が、現行無線方式では製造できなくなったこと(修理対応不可)、及び地上装置の老朽化が進んでいることから新方式への機器更新を実施します。

・更新機器

①携帯防護無線機



②移動局装置

- ・制御ユニットCPU基板(循環改修)
- ・無線ユニット(新製)



・更新計画

	R6	R7	R8	R9
	2024	2025	2026	2027
協議・設計	↔	12ヶ月		
機器製作	↔		手配～出荷:20ヶ月	
試運転対応			↔ 初編成2ヶ月/量産展開7ヶ月(2編成/月更新)	
新システム稼働			→	

(2 前年度から変更・見直しした点)

- ・継続事業(債務負担設定済)
- ・変更なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両安全確保のため
- ・車両老朽化や電機品の製造終了に対応するため

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費		228,800				228,800
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

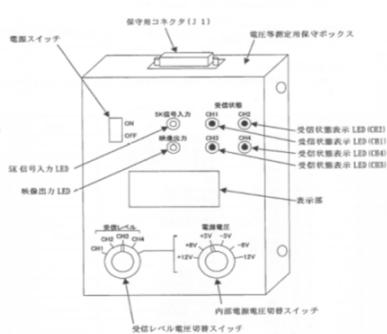
(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
6 ミリ波受信装置試験器保守ボックス購入	2,899

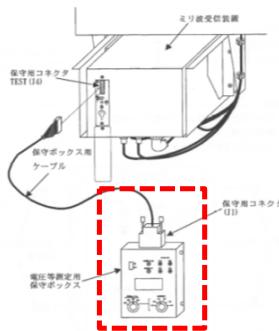
(1) 事業目的・内容

ミリ波受信装置は乗務員が車両ドアの開閉に際して、乗降客の安全を確保するため、ホーム映像を運転室のモニタ画面に表示するシステムです。故障処置や保守点検において電圧や受信レベルを検査する際に試験器保守ボックスを使用する必要があります。

当該試験器は、予備品が無く上永谷検車区の1台で対応しているため故障時の対応、機器校正をおこなう事が出来ないため、予備品の購入が必要です。



・ミリ波受信装置保守ボックス



・ミリ波受信装置との接続状態

・前々年度(R4年度)故障履歴

故障件数 6件(上永谷対応4件、新羽対応2件)
車両交換 3件(上永谷基地入区2件、新羽基地入区1件)

・スケジュール

令和6年度 契約・製造(30ヵ月)
令和7年度 製造
令和8年度 納品

(2) 前年度から変更・見直しした点)

・継続事業(債務負担設定済)

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

・車両性能維持のため
・車両安全維持のため

(4) 除却資産の有無)

(5) 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6) 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費		2,899				2,899
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
7 上永谷車両基地スクリューコンプレッサ更新	

(1 事業目的・内容)

スクリューコンプレッサは圧縮空気を作る機械で、車輪削正の際の気噴や検査の際の機器の気噴、空制装置の試験、車両へのエアの供給などの様々な業務に用いられています。

上永谷修繕工場では既設3台のコンプレッサのうち2台が設置から約30年が経過しており、そのうちの1台が故障により停止しています。機器の製造から時間が経過しているため、生産が終了している部品も多く修理は困難です。

今後、更にコンプレッサの故障が発生すると、検査業務に支障をきたす恐れがあるため、車両の安全性確保のために老朽化した2台を更新します。



(2 前年度から変更・見直しした点)

- ・継続事業(債務負担設定済)
- ・変更なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両運用維持
- ・車両安全性確保
- ・車両性能維持

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
8 川和車両基地立体格納庫制御盤更新	

(1 事業目的・内容)

川和検修庫内に設置されている立体格納庫で、車両の予備品等を格納しています。

設置から約17年が経過しており、制御盤部品の改廃等により今後故障した際に修繕ができない状態となっています。

故障時、メーカーも現状の装置の予備品を保有しておらず、中古品等での仮復旧処置となるため、故障の再発の可能性があるだけでなく、部品入手までの期間、装置が使用できなくなります。

装置が使用できなくなると、緊急の故障対応や、全車検等の検査業務が滞り、車両運用に影響を及ぼす可能性があるため、制御盤を更新します。

・設置年度: 2007年

・最大荷重: 1500kg

・棚配列: 2列 × 11連 × 6段-12棚

棚総数: 120棚



(2 前年度から変更・見直しした点)

・継続事業(債務負担設定済)

・工程変更(R9年度施工→R8年度施工)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・車両運用維持

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
9 保安装置仕様書作成	

(1 事業目的・内容)

目的

鉄道事業者が行う一部の調達については国際調達の対象外とされてきましたが、2020年2月以降EUをはじめとする海外事業者の競争入札参加が可能になりました。これまで保安装置の調達は国内の製造メーカーに限り入札を実施してきており、海外事業者の参入の可能性が生じたことに伴い国際調達への対応をする必要があります。

本事業は地上・車上調達で使用してきた規格をはじめ、技術仕様に係る内容を精査し、技術仕様書を作成するとともに、国際調達の視点からレビューを行うことで、入札及び契約後の地上・車上機器の調達事業を円滑に進めるために実施するものです。

(2 前年度から変更・見直しした点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

EPA及びWTO政府調達協定

国際調達手続き対応のため

車両仕様及び技術規格の見直しと精査のため

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
10 新羽車両基地車輪転削盤データ記録システム更新	

(1 事業目的・内容)

新羽車両基地に設置している車輪転削盤の構成装置であるデータ記録システム用端末機器は設置から8年以上が経過し、搭載OSのサポート切れや端末機器及び周辺機器の経年劣化が発生しています。当該装置は車輪削正の詳細データ・帳票管理を行うものです。この端末機器には車輪転削盤専用のソフトウェアが導入されており、本装置故障時の代替機を保有しておりません。定期的・臨時の車輪削正を実施するため、端末機器(周辺機器含)を更新します。

【車輪転削盤】

車両の車輪を削る装置です。日々の走行により車輪には踏面の摩耗、傷(フラット)等が発生します。削正により、適正な車輪形状を維持します。

【対象設備】

・新羽車両基地 車輪転削盤
H28年度(2016)設置

(2 前年度から変更・見直しした点)

・新規事業(単年度)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
--------	--------

11 搬送用仮台車購入

(1 事業目的・内容)

本事業は、老朽化した搬送用仮台車を更新するものです。

搬送用仮台車は、輪軸が固着等により車両が動かせない場合など、緊急時に輪軸下に設置して軌道上を移動可能にさせる装置です。上永谷修繕工場と川和検修区にそれぞれ輪軸1軸分の搬送用仮台車がありますが、老朽化で修理不可能などの理由により、緊急時などの使用に支障があります。

また、脱線復旧訓練時に台車が損傷した場合を想定すると輪軸1軸分の搬送用仮台車では不足することが分かり、緊急時でも安全な移動を実現するため、1台車分(輪軸2軸分)をブルーライン及びグリーンライン用に購入します。

(2 前年度から変更・見直しした点)

・新規事業(単年度)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・車両移送時における安全性の確保

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

【事業内容】	8年度予算額
--------	--------

12 200V スポットクーラー更新

(1 事業目的・内容)

スポットクーラーとは移動可能な小型の冷房機器で、車両の検査をする際に使用しています。

検査では、車両の電源を落とした状態で点検する項目があり、車両内の空調装置が使用できないため、当該装置を用いて作業場所の温度管理をしています。

現在使用している機器は製造から30年が経過しており、各部に劣化が見られるだけでなく、冷却機能も低下しています。更なる冷却機能の低下や機器が故障した場合、作業環境が悪化し、作業員の熱中症等を引き起こす可能性があるため更新します。

当該装置は両側の運転台で1台ずつ使用しているため、計2台を更新します。

スポットクーラー:2台(3相200V)

(2 前年度から変更・見直しした点)

・新規事業(単年度)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・作業環境維持のため

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
13 バッテリ充放電装置更新	

(1 事業目的・内容)

バッテリ充放電装置とは車両に搭載されているバッテリを充放電する装置です。
製造から約30年が経過しており、機器の各部に老朽化が見られるだけでなく、充放電する3系統のうち、
2系統が故障により使用できない状態となっています。
製造メーカーから使用部品の生産終了を受けており、故障した場合、修理不可となるため更新します。



全体写真

(2 前年度から変更・見直しした点)

- ・新規事業(単年度)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両性能維持のため

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
14 車両改造設備設計委託	

(1 事業目的・内容)

車両の保安装置等の機器更新に伴い、車両改造が必要となります。

保安装置等は車体床下に搭載されており、改造作業には車体と台車の分離、および床下の作業スペース確保が不可欠です。

このため、リフティングジャッキ等を設置し、車体と台車の分離、および作業スペースの確保が可能かを検討します。

また、車体の上下・左右の作業スペース、工具置場、機材の仮置場、移動スペース、安全性や作業効率を考慮した設備配置についても設計検討を行います。

(2 前年度から変更・見直しした点)

・新規事業(単年度)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・作業員の安全確保
- ・検車区での長期車両台抜き作業場所の確保

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
15 3000V形機器更新	0

(1) 事業目的・内容)

3000V形は2017年に製造され、電機品の更新目安である10年を迎える。VVVFや空調装置などの電機品は10年前後で性能劣化や故障率の増加が見込まれます。安全運行確保のため、電機品の機器更新を実施します。

(1) 更新計画

年度	R8	R9	R10
	2027	2028	2029
更新計画	契約 設計 製造	設計 製造	更新

(2) 更新対象装置

- ・VVVF装置
- ・ATC/O装置
- ・ブレーキ装置
- ・補助電源装置
- ・空調装置
- ・YTM装置
- ・列車無線装置
- ・放送装置
- ・表示装置



空調装置



ATCO装置

(2) 前年度から変更・見直しした点)

- ・新規事業

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両安全確保のため
- ・車両性能維持のため

(4) 除却資産の有無)

(5) 補助対象の有無)

- 有
 無

- 有
 無

(6) 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
16 上永谷修繕工場誘導加熱装置更新	

(1 事業目的・内容)

誘導加熱装置は車軸のインナーレースペアリングを表面から加熱し、軸との温度差を与え輪軸脱着を行う装置です。

ブルーライン車両の全重検にて使用しています。本事業は劣化した誘導加熱装置を更新するものです。

当該装置は、製造から約30年経過し各部の劣化が進んでいます。生産中止品も多数あり修理不可能な状況です。(2台中1台故障中)
故障が発生した場合、入場工程に遅れが生じ、運用に支障をきたします。

上記の理由から、誘導加熱装置1台の更新を行います。



(2 前年度から変更・見直しした点)

・新規事業(単年度)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・車両運用維持
・車両性能維持のため

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
17 ATC/O試験装置2台購入	0

(1 事業目的・内容)

ATC/O試験装置はATC装置、ATO装置の性能を確認する試験器で月検査、全重検、故障対応等で使用しています。ATC/O試験装置は、現在2台(上永谷検車区、新羽検車区)保有しており、旧型であるATC試験装置は3台(新羽検車区、修繕工場)保有しております。
※ATC/O試験装置はATC試験装置(旧型)とATO試験装置を統合して製作した装置です。

月検査、全重検では試験装置を2台使用(1号車6号車に接続)します。旧型の試験装置は製造から20年が経過し劣化が進行しています。またメーカーより使用部品製造中止に伴う修理不可の通達もある事から、ATC/O試験装置2台の購入をします。

【試験装置配置】

(現在)	新羽検車区	上永谷検車区	修繕工場	計
ATC試験装置(旧型)	1台	0台	2台	3台
ATCO試験装置(新型)	1台	1台	0台	2台
計	2台	1台	2台	5台

↓

(購入後)	新羽検車区	上永谷検車区	修繕工場	計
ATC試験装置(旧型)	1台	1台	1台	3台
ATCO試験装置(新型)	2台	1台	1台	4台
計	3台	2台	2台	7台

- ・ATCO試験装置(新型)を各所に配置することにより運搬がなくなります。
- ・各所に2台以上、配置することにより作業が重複した際も対応が可能となります。



・ATC/O試験装置

3000A/N/R/S形車両にて使用

【使用用途】

- ・新羽検車区(月検査、車両改修)
- ・上永谷検車区(故障対応、CM変更に伴う定置試験)
- ・修繕工場(全重検)

(2 前年度から変更・見直しした点)

- ・新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両性能維持のため
- ・製造終了に対応するため

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
18 ATO送受信器試験装置購入	0

(1 事業目的・内容)

お客様の安全対策に有効なホーム柵は、全駅に設置されており、ホーム柵の開閉は、車両と地上装置間での送受信により行われています。検査では車両基地に地上装置設備を設置していないため、地上装置を模擬的に試験器に置き換入出力の確認を行っており、ATO送受信器試験器は重要な役割を果たしています。

本試験器は上永谷検車区、新羽検車区に1台ずつ保有していますが、試験器製造から20年が経過し、劣化がみられます。また、使用部品の1部が生産終了しているため修繕が困難となっているため試験器本体の更新をします。



ATO送受信器試験器



ケーブル劣化



試験アンテナ劣化

(2 前年度から変更・見直しした点)

- ・新規事業(複数年)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・製造終了に対応するため
- ・車両性能維持

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

- 有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
19 上永谷検車区直流電源装置購入	

(1 事業目的・内容)

上永谷検車区では各機器の予備品を多数保有しています。予備品は定期的なエージングを実施することで、故障発生時の予備品を使用した際の信頼性、長期保管による不具合を未然に防止することができます。現在使用している直流電源装置は20年が経過し、経年劣化による焼損が発生しました。また、本線や留置線で車両のバッテリー上がりが発生した場合の復旧にも使用するため、直流電源装置の購入をします。

・予備品の通電体制

通電が実用な予備品は45台。そのうち必要最低限である22台を2日間に分けて通電を実施。(1週間に12時間以上)
なお残りの22台は半年に1度72時間の通電を実施。ほぼ毎日のエージングを実施している。

(2 前年度から変更・見直しした点)

・新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・車両性能維持のため

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
20 ブルーラインYTM改造	

(1 事業目的・内容)

本件は、列番設定器NFB「切」の状態で営業運転できるようにYTM側ソフト改修を行うものです。

列番設定器はツーマン運転を行っている時代に、車両の行先等を設定するために使用されておりました。

ワンマン運転への切り替えの際に、YTM側だけで行先等を設定できる仕様に変更されたため、列番設定器自体を操作することはなくなりましたが、万が一、YTM側で行先設定ができなくなった場合に備え、切換スイッチにより使用できる構造へ改造を行いました。その後、YTM側だけでの運用の信頼性も確保され、現在は列番設定器は使用しておりません。

令和6年度より営業線での行先表示滅灯などの不具合が散見されており、原因を調査したところ、今は使用されていない列番設定器からの異常な信号が原因であることがわかりました。そのため、列番設定器とYTMとの信号やり取りを完全に切り離し(列番設定器NFB「切」で営業運転)、当該の不具合が発生することを防ぐためYTMのソフト改修を実施します。

・対象車両: 3000N、3000R、3000S形

更新計画

	R8	R9
3000N形	契約・改修	
3000R/S形	契約	改修

(2 前年度から変更・見直しした点)

・新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

確実な車両運用確保のため

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
21 10000形運転士操作器更新	

(1 事業目的・内容)

本件は10000形車両の運転台に設置されている運転士操作器を更新する事業です。

1号車・6号車の運転台にそれぞれ設置されており、運転士操作器は車内外の音声放送や、反対側の運転台との通話、非常通報時の応答などに使用する装置です。

通話用の送受話器と放送種別等を選択する釦にて構成されており、放送先を選択し、肉声放送する仕組みとなっています。

当該装置は車両の導入時より使用しており、製造から約18年が経過し、各部の劣化や故障が発生しています。

約1年間の間に送受話器の不良が2件、コネクタの不良が2件、通話不良が1件、計5件の故障発生しており、今後も故障件数が増加していくことが予想されます。故障した場合、車両を営業運行させることができず、車両運用に支障をきたす恐れがあるため更新します。

運転士操作器 36台:17編成分(34台)+予備品(2台)



(2 前年度から変更・見直しした点)

・新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・車両性能維持のため

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
22 10000形フランジ塗油装置改良	0

(1 事業目的・内容)

フランジ塗油装置は車両の台車に取り付けられている装置で、車輪のフランジ部へスプレーにより油を吹き付け、車輪が走行することによりレール面や他の車輪へ転写され、車輪のフランジ摩耗やレールの摩耗抑制、走行音低減を行う装置です。

グリーンラインの6両化が始まった令和4年度以降、本線を走行する車両数が増加したことにより、塗油量が不足し、車輪の異常摩耗や形状悪化が頻発しております。車輪の形状悪化により乗り心地が悪くなるだけでなく、異常摩耗により車輪形状を整えるための削正量が増加し、計画外の車輪交換が必要となり、車両運用に支障をきたしています。

そのため、現在4編成に搭載されている当該装置を改良し、適切な塗油量を確保します。



(2 前年度から変更・見直しした点)

- ・新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両性能維持のため

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
23 電気品更新に伴う備品購入等	

(1 事業目的・内容)

ブルーライン車両の電気品等更新を実施するために必要な機械器具等の購入を行うものです。

車両を安全に運行するためには、計画的な機器更新が必要となります。機器更新では経年劣化した電子部品や製造終了等が想定される機器の更新を行います。令和8年度より新羽車両基地検車区にて3000R形車両の機器更新が始まりますが、現在の新羽検車庫の設備では安全で効率的な機器更新が行えません。そのため、必要な機械器具等を購入します。

- 対象備品等
- ・アント改造
 - ・ハンドリフター
 - ・スポットクーラー
 - ・冷風機
 - ・移動式昇降台
 - ・電動式リフター



(2 前年度から変更・見直しした点)

- ・新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・職員の安全確保(熱中症対策など)
- ・計画的な車両整備の実施

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

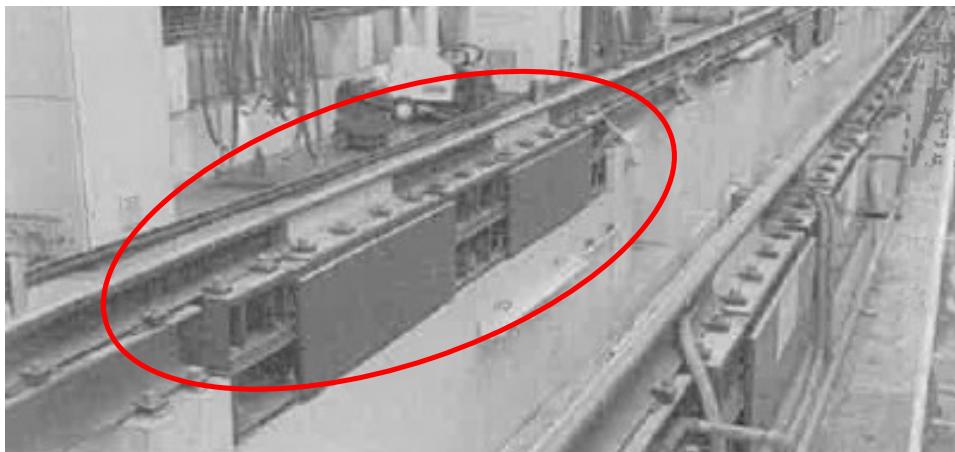
予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 車両課(技術) 課長名: 武藤 敏行

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
24 簡易輪重測定装置購入	

(1 事業目的・内容)

輪重測定装置は、車両が正常に運行するように車輪の輪重比を管理するための装置です。
輪重測定装置の設置から15年以上経過しており、ロードセルの経年劣化が顕著になってきたため交換を行います。



(2 前年度から変更・見直しした点)

- ・新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両性能維持のため
- ・計画的な車両整備の実施

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)			
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額	6,628,575	4,433,536	2,195,039

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
1 舞岡変電所機器更新工事	0

(1 事業目的・内容)

舞岡変電所は1986年製であり、製造から39年が経過し機器の劣化が進行しています。製造中止となった部品も多く、健全な機能を維持することが困難となりました。全面的な機器の更新を行い、設備の信頼性の向上を図ります。

【課題】

電力会社からの受電を担う受電変電所であり、機器故障時の影響範囲が大きい。

【検討事項】

機器製造と据付工事を分けることにより費用の低減を図ります。



【事業計画】

件名	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
舞岡変電所機器製造	発注						
実施設計		発注					
工事			発注				
電力会社工事				発注			

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- | | | | | |
|---------------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 1986-20-00129 | 2005-20-00441 | 2005-20-00472 | <input type="checkbox"/> 有 |
| <input type="checkbox"/> 無 | 1986-20-00130 | 2005-20-00442 | 2017-20-00427 | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| | 1999-20-01564 | 2005-20-00443 | | |
| | 2001-20-00262 | 2005-20-00444 | | |
| | 2005-20-00439 | 2005-20-00445 | | |
| | 2005-20-00440 | 2005-20-00446 | | |

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	285,000					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
2 下飯田変電所22kV開閉設備更新委託	

(1) 事業目的・内容)

下飯田変電所の22kV開閉設備は機器の寿命である動作回数1万回を超えており、信頼性が低下しています。
令和5年7月には遮断器の部品の一部が故障し、湘南台～立場間で通常運行に影響を与えるなど、実際に不都合も発生しています。

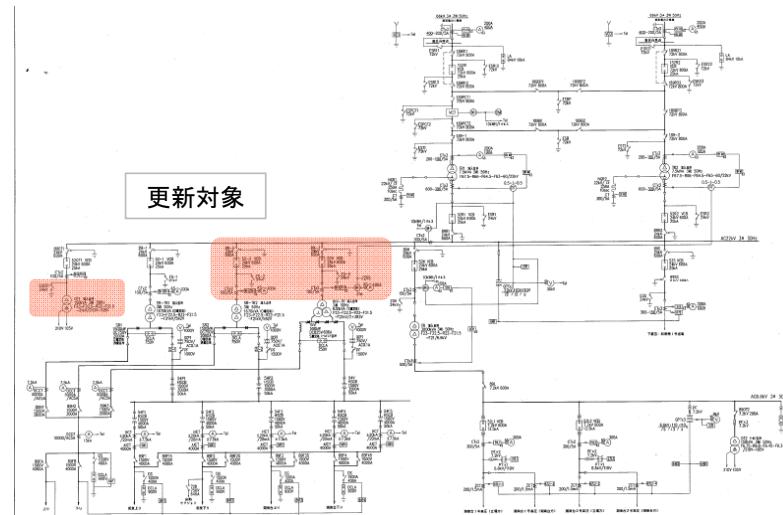
当該製品はメーカーでも生産が中止しており、再度、故障した際には復旧は困難です。

【更新内容】

22kV開閉設備を部分更新します。

【検討事項】

変電所の一括更新とせず、寿命に達した機器のみ更新することで、コスト削減、平準化を図ります。



(2) 前年度から変更・見直しした点)

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4) 除却資産の有無)

有
 無

(5) 補助対象の有無)

有
 無

(6) 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	50,000					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
3 牛久保変電所部分更新委託	

(1 事業目的・内容)

牛久保変電所における以下の機器について、更新を行い変電所全体寿命の延命を図ります。

【継電器】

変電所の制御および故障の監視を行う機器です。故障した場合、制御や監視が行えなくなり、列車の運行に影響します。

令和6年度も継電器が故障しており、緊急で修理を行っています。

全面的に更新することにより信頼性を回復します。

【直流開閉器】

電車に直接電気を供給する開閉器です、き電停止及び開始のたびに動作しており、使用頻度の高い機器です。

機器の耐用である動作回数1万回を超えており、故障した場合、電気の投入・開放ができず、運行に影響を与えるため更新します。

【22kV開閉器】

直流開閉器同様、電車に直接電気を供給するための設備であり、使用頻度も高いです。

また、予備器がなく、故障した場合は修理完了となるまで当該機器が使用できません。

直流開閉器同様、機器の耐用である動作回数1万回を超えており、故障した場合の影響が大きいため更新します。

更新においては、全数更新ではなく劣化状況に応じて部分的な更新とすることでコスト低減を図ります。

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
牛久保変電所			
搬入口設置工事			

(2 前年度から変更・見直しした点)

搬入口設置工事を別発注することで、事業費を圧縮します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	10,000					
債務負担設定	490,000					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
4 センター北変電所継電器更新工事	

(1 事業目的・内容)

センター北変電所における以下の機器について、更新を行い変電所全体寿命の延命を図ります。

【継電器】

変電所の制御および故障の監視を行う機器です。故障した場合、制御や監視が行えなくなり、列車の運行に影響します。

令和6年度には他の変電所において同型の継電器が故障しており、緊急で修理を行っています。

全面的に更新することにより信頼性を回復します。



	令和7年度	令和8年度	令和9年度
センター北変電所			

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
5 在田変電所機器更新工事(基本設計委託)	

(1 事業目的・内容)

在田変電所の機器を更新するための基本設計を委託します。

在田変電所に設置されている変電機器は更新時期を迎えており、更新にあたっては変電機器、建物電気設備(照明)、防災設備、機械設備の仕様の見直しをする必要があるため、基本計画について、基本設計を委託します。



整流器用変圧器

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
設計	→			
		機器製造	→	
			工事	→

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
6 新羽変電所機器更新工事(基本設計委託)	

(1 事業目的・内容)

新羽変電所の機器を更新するための基本設計を委託します。

新羽変電所に設置されている変電機器は更新時期を迎えており、更新にあたっては変電機器、建物電気設備(照明)、防災設備、機械設備の仕様の見直しする必要があるため、基本計画について、基本設計を委託します。

また、新羽変電所は浸水想定区域に設定されており、現状では変電機器が浸水してしまうため、場所の変更や変電機器のかさ上げを行う必要があります。



変圧整流器設備

受電盤

主配電盤

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
設計	→			
	機器製造	→	工事	→

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
7 茅ヶ崎変電所部分更新委託	0

(1 事業目的・内容)

茅ヶ崎変電所の機器は1992年製であり、運用開始から33年が経過しているため、構成部品の製造中止により故障時の修理が困難な状態です。動作回数の期待寿命を大きく超過している開閉器設備および主配電盤設備の更新を行い、変電所全体寿命の延命を図ります。

【機器の更新対象】

主配電盤…変電所の制御および故障の監視を行う設備

22kV開閉器…電車に電気を供給する回路(交流22kV)の入切や故障回路の切り離しなどを行う設備

6.6kV開閉器…電車に電気を供給する回路(交流6.6kV)の入切や故障回路の切り離しなどを行う設備

直流開閉器…電車に電気を供給する回路(直流750V)の入切や故障回路の切り離しなどを行う設備

件名	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
変電所機器更新工事	●	●	●	●



主配電盤設備

(2 前年度から変更・見直しした点)

全面更新から部分更新に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有 1992-20-00922
 無 2001-20-00261、2001-20-00420
 2005-20-00466,467,468
 2008-20-00261

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費					●	●
債務負担設定		●				●

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
8 変電所換気空調設備更新工事	

(1 事業目的・内容)

変電所の換気空調設備を更新します。

変電所の変電機器は通電により使用中発熱します。機器が高温となった場合、機械的・電気的に故障が発生するリスクが高まります。そのため、換気空調装置は所内の変電機器の冷却のため不可欠です。また、空調設備は主配電盤室に設置されています。主配電盤室とは変電所機器の監視操作盤や過電圧等で電気事故を起こさないように制御をする継電器盤、総合司令所から変電所の機器操作を行うための遠隔制御装置や停電時に変電所の機器操作用のために電源を供給するための直流電源装置を設置しています。

これらの設備は温度が高い状態で運用すると機器寿命が早まり、故障する可能性が高まるため空調が効いた部屋内に設置する必要があります。

現在、各変電所の空調機は設置から25年近く経過しており、一般的な耐用年数(13年～15年)を超過しており、更新が必要です。また、古い空調機はフロンを使用しており、故障時に部品がなく、修理が困難です。

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
下飯田、和泉、踊場、茅ヶ崎	設計	工事		
新横浜、牛久保、関内		設計	工事	
蒔田(換気)		設計	工事	

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有 1996-20-00204
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
9 グリーンライン電力管理システム部分更新(その2)	286,000

(1 事業目的・内容)

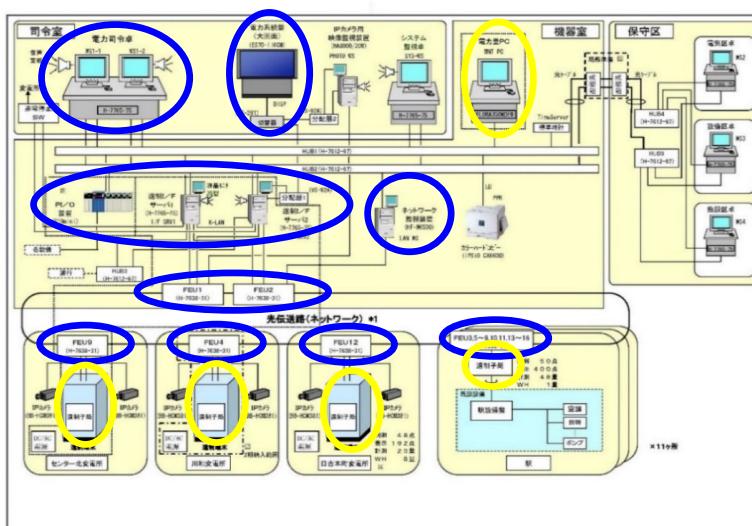
電力管理システムは変電所の機器状態、故障情報、電力量データ等を収集、表示や機器の操作をすることができます。

グリーンライン電力管理システムは設置から17年が経っており、機器の更新推奨時期になっています。

そのため、電力管理システムを継続して使用するためには生産終了され機器交換、部品交換のできない機器の更新委託を行います。

令和7年度～令和9年度契約として、更新を進めます。

また、故障監視、機器運用のし易さ向上のために総合司令所からの要望として仕様改修を追加します。



令和6年度更新完了

令和9年度更新完了

(2 前年度から変更・見直しした点)

仕様改修に伴う金額の増額

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

総合司令所からの要望

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	18,000	286,000	64,000			368,000
債務負担設定	300,000					300,000

令和8年度 建設改良費 事業計画書

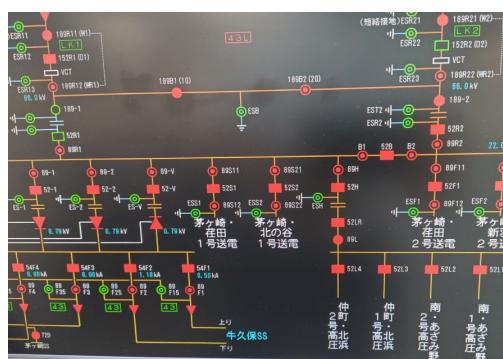
予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
10 ブルーライン電力管理システム改修委託	

(1 事業目的・内容)

電力管理システムは変電所の機器状態、故障情報、電力量データ等を収集、表示や機器の操作をすることができます。
設備故障発生時の機器運用の円滑化や変電所機器の延命を目的とし、システム改修を行います。



電力管理システム監視画面

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
11 高圧配電線更新工事	

(1 事業目的・内容)

【工事の目的】

高圧配電線(ケーブル)は、当局の付帯変電所から、各駅の電気室へ電気を供給するための電力ケーブルです。更新計画中の区間は、高圧配電線を格納しているコンクリートトラフが、塩害により激しく腐食し、ケーブルが露出している部位があります。(対象区間:横浜~三ツ沢下町)

また、敷設・運用より41年が経過していることから、高圧配電線の信頼性が低下しつつあると考えられます。そのため安定した電力供給の維持を目的に、高圧配電線およびコンクリートトラフの更新を実施します。

【課題】

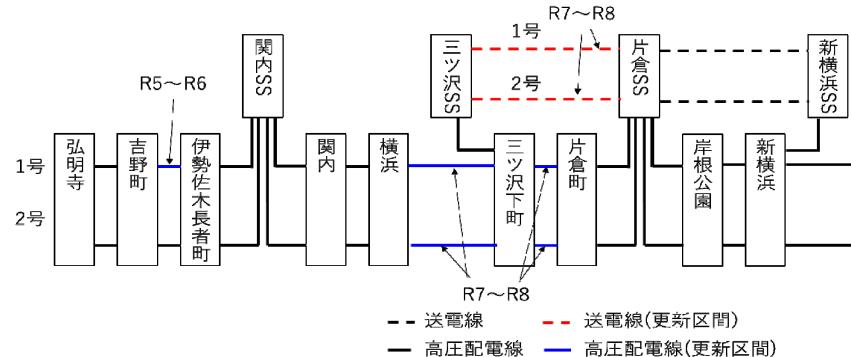
工事の大半は夜間の軌道内を占有する工事のため、関係箇所との調整を密にし工事を行う必要があります。また高圧配電線は停止させる事ができないため、高圧配電線の仮設等を行ながら、慎重に工事を実施します。仮設に係る費用の低減のため、送電線と同じタイミングで更新します。

【更新計画】

区間	亘長	設置	経過年数	R5	R6	R7	R8	R9	R10
吉野町E/R~伊勢佐木長者町E/R(上り)	1400	1997	28						
横浜E/R~片倉町	8800	1984	41			●	●		
片倉S/S~新横浜S/S	5800	1984	41					●	●
舞岡S/S~上永谷E/R	4400	1984	41						●

※上下線の更新の場合は亘長を2倍している

(2 前年度から変更・見直しした点)



(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有 1984-20-00397
 無 1984-20-00396

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	133,928					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
12 送電線更新工事	

(1 事業目的・内容)

【工事の目的】

送電線は、電力会社より受電している当局の変電所から、電車用電力を供給しているき電変電所へ電気を供給するための電力ケーブルです。

対象の送電線は敷設・運用から、41年が経過しており、ケーブルの信頼性が低下しつつあると考えられます。
そのため安定した電力供給の維持を目的に、更新計画に基づき、送電線の更新を実施します。

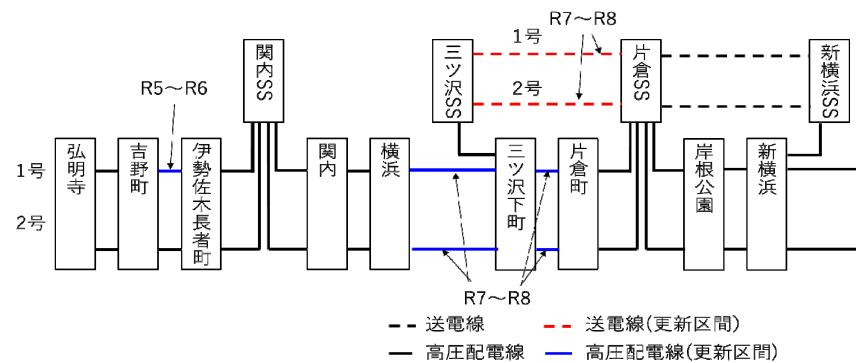
【課題】

工事の大半は夜間の軌道内を占有する工事のため、関係箇所との調整を密にし工事を行う必要があります。
また送電線は軌道内のトラフ内に布設しており、高压配電線と隣接しています。作業効率化・費用低減のため、高压配電線と同じタイミングで更新を行います。

【更新計画】

	区間	亘長	設置	経過年数	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
①	三ツ沢～片倉	6000	1984	40									
②	片倉～新横浜	5600	1984	40									
③	新横浜～北の谷	6000	1992	32									
④	北の谷～茅ヶ崎	5200	1992	32									
⑤	茅ヶ崎～牛久保	5600	1992	32									

(2 前年度から変更・見直しした点)



(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有 1984-20-00393
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	384,822					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
13 弘明寺駅電気室更新工事	436,430

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための機器更新工事を実施します。

弘明寺駅電気室は、昭和47年の開業以来、52年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です（更新の目安：約30年）。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることになります。

また、電気室で使用している変圧器についてはPCB含有の機器のためPCB特措法に基づく処分期限（令和8年度末）までに機器の更新を実施し、既設変圧器を処分する必要があります。

このことから弘明寺駅電気室について、機器更新工事を実施いたします。

★工事計画

対象電気室	設置年	経過年数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
弘明寺駅	1972	52	●-----●	●-----●	●-----●	●-----●	●-----●	●-----●

基本設計 ●-----●

実施設計 ●-----●

工事 ●-----●



弘明寺駅電気室のPCB含有変圧器

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

PCB含有の機器のためPCB特措法に基づく処分期限（令和8年度末）までに機器の更新を実施し、既設変圧器を処分する必要あり

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- | | | | | |
|---------------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 2006-20-00258 | 2000-20-00048 | 1972-20-00024 | <input type="checkbox"/> 有 |
| <input type="checkbox"/> 無 | 2007-20-00525 | 1987-20-00038 | | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| | 2007-20-00526 | 1988-20-00054 | | |
| | 2007-20-00527 | 1989-20-00054 | | |

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	31,770	436,430				468,200
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
14 上永谷駅電気室更新工事	73,800

(1) 事業目的・内容

電気室更新のための工事を実施します。

上永谷駅電気室は、昭和50年の竣工以来、49年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です
(更新の目安: 約30年)。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、
列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をかけすることになります。このことから上永谷駅電気室について、機器更新を実施致します。

【事業計画】

対象電気室	設置年	経過年数	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
上永谷駅	1976	50		●	●	●	●	●

工事 ● ● ● ● ●

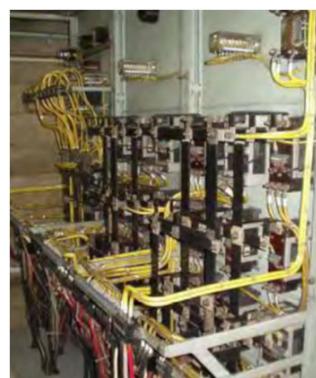


(2) 前年度から変更・見直しした点)

継続

開放型負荷盤

(印加部が露出している為、保守作業時に感電の恐れがある)



(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4) 除却資産の有無)

有
 無

(5) 補助対象の有無)

有
 無

(6) 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	100,000	73,800	205,000	541,200		920,000
債務負担設定	1,068,000					1,068,000

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

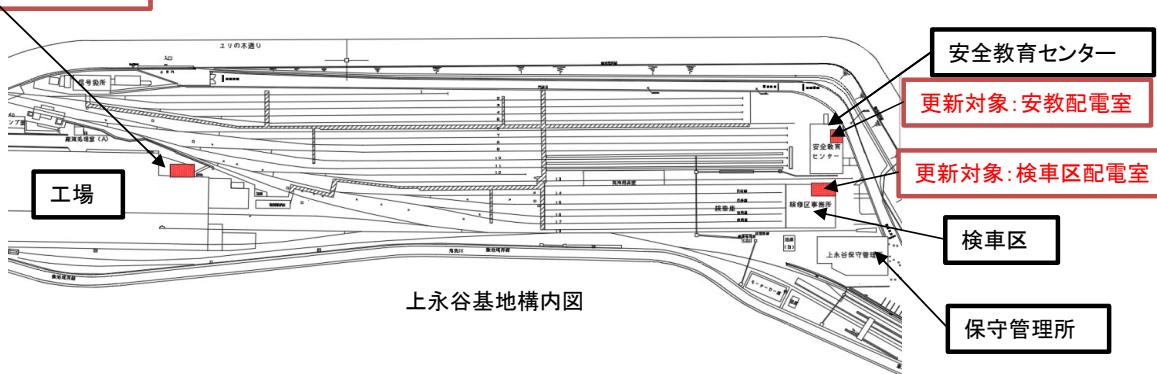
【事業内容】	8年度予算額
15 上永谷車両基地電気室更新工事	300,000

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地の電気室及び配電盤室の更新を行います。

上永谷基地電気室は、1976年製であり、49年稼働しています。老朽化が進行しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です（更新の目安：約30年）。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、基地の電力供給が行えなくなり、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置が停止する恐れがあります。基地機能が停止してしまうと、本線の列車運行も困難となります。

更新対象:工場内電気室



(2 前年度から変更・見直しした点)

対象電気室	設置年	経過年数	令和5年度	令和6年度	令和7年度	～	令和10年度
上永谷車両基地	1976	49	●	●	●	●	●

（注）実施設計

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費		300,000	300,000	820,000		1,420,000
債務負担設定	1,422,000					1,422,000

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
16 高島町駅電気室更新工事	11,561

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための基本・実施設計について、設計を委託します。

高島町駅電気室は、開業以来49年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です(更新の目安:約30年)。

万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることになります。

このことから高島町駅電気室について、機器更新のための設計を委託致します。

★委託発注計画

対象電気室	設置年	経過年数	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
高島町駅	1975	50	●-----●	●-----●	●-----●	●-----●

基本設計
実施設計
工事



(2 前年度から変更・見直しした点)

変圧器

開放型負荷盤

(印加部が露出している為、保守作業時に感電の恐れがある)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)



(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	19,239	11,561				30,800
債務負担設定	44,891					44,891

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

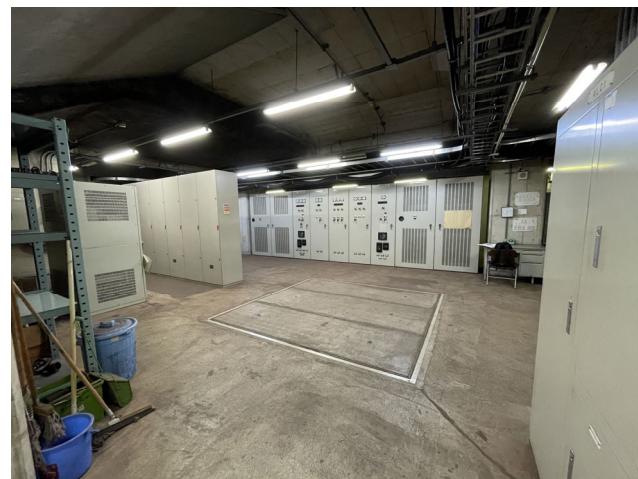
(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
17 三ツ沢下町駅電気室更新工事	13,530

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための基本・実施設計について、設計を委託します。

三ツ沢下町駅電気室は、1985年の使用開始から40年を経過し機器の老朽化による更新を必要としています。万が一電気室の機器が故障すると駅への電力供給が行えないばかりか、その他信号装置や列車運行に必要な電力供給も断たれてしまいます。その結果、運行支障となり多くのお客様へご迷惑をおかけすることとなります。以上のことから機器更新のための設計を委託いたします。



(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	21,120	13,530				34,650
債務負担設定	31,900					31,900

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本の支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
18 三ツ沢上町駅電気室更新工事	0

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための基本・実施設計を委託します。

三ツ沢上町駅電気室は、開業以来41年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です（更新の目安：約30年）。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることになります。このことから三ツ沢上町駅電気室について、機器更新のための設計を委託致します。

★委託発注計画

対象電気室	設置年	経過年数	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
三ツ沢上町駅	1984	41	●	●	●	●

基本設計 実施設計 工事



(2 前年度から変更・見直した点)

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

□ 有
■ 無

□ 有
■ 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
19 上永谷車両基地き電監視盤ほか更新工事	0

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地の検車庫用直流開閉器盤、現地操作盤及び電監視盤の更新を行います。

上永谷車両基地検車庫用直流開閉器盤(以下、C盤)及び現地操作盤(以下、G盤)は、昭和53年に設置されました。現在、47年経過しており、劣化が進行しています。また修理に必要な補修部品等も既に生産が中止されており、故障等の不具合が発生した場合に修理対応に多くの時間を要してしまう状況です。

また、直流開閉器の状態を監視しているき電監視制御盤についても本体及び制御線の経年劣化が進んでいるため、C盤及びG盤を含めて更新します。

【主な不具合】

●経年老朽化による本体の発錆や腐食 ●可動部の動作不具 ●スイッチの接触不良 ●配線の絶縁抵抗の低下

【C盤】

上永谷車両基地には、車両を点検するための点検線があります。点検線内には、点検中の列車に直流750Vを送るための「栓受」と呼ばれる設備があります。

C盤は、「栓受」の直流750Vを開閉するための直流開閉器盤で、電磁接触器1台で構成されています。

【G盤】

G盤は、C盤に収納されている電磁接触器を遠方の点検線で開閉操作するための現地操作スイッチ盤です。

【MC盤】

C盤の上位に存在し、サードレールを開閉するための直流開閉器で、高速度遮断器で構成されています。

【き電監視制御盤】

MC盤の状態を監視し、基地構内の直流750Vの入切状態を監視しています。

【事業計画】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
基本設計								
実施設計	●	●						
更新工事				●				●

(2 前年度から変更・見直しした点)



(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

1983-20-00022 2004-20-00217 2016-20-00245

有 1983-20-00023 2006-20-00260
 無 1991-20-00136 2009-20-00184
1992-20-00085 2009-20-00188
1992-20-00086 2010-20-00648
2003-20-00204 2014-20-00323

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
20 駅照明更新工事	

(1 事業目的・内容)

駅照明の消費電力を削減しCO₂の排出を抑止することを目的に、蛍光灯のLED化を駅の改修や老朽化対策等に合わせ、周囲の機器への影響及び安全性に配慮しながら調査や導入を実施しています。

令和8年度中に接客部の照明のLED化率100%になります。(大規模改良工事を控えている上永谷駅を除く)

駅	灯数 (灯)	電力削減量 (kWh/年)	CO ₂ 削減量 (t/年)	令和7年度	令和8年度	令和9年度
高田	516	53,638	22.6	↔		
北山田	313	32,536	13.7	↔		
東山田	219	22,765	9.6	↔		
センター北	202	20,998	8.8	↔		
関内	85	8,836	3.7	↔		
中田	225	23,389	9.8	↔		
立場	170	17,671	7.4	↔		
下飯田	197	20,478	8.6	↔		
蒔田	260	27,027	11.4	↔		
日吉	602	62,578	26.3	↔		
日吉本町	340	35,343	14.9	↔		
中山	626	65,073	27.4	↔		
吉野町	160	16,632	7.0	↔		
高島町	152	15,800	6.7	↔		
舞岡(接客外を含む)	22(225)	2,287	1.0	↔		
1号線(接客外のみ)	0(1,846)	0	0	↔		



(2 前年度から変更・見直しした点)

2027年度より、蛍光灯の製造中止に備え、接客外のエリアについても、一部駅で照明のLED化を進める。

昨年度、発注予定だった蒔田駅について、発注方法の変更に伴い、発注時期を変更。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有 公営企業債(脱炭素化事業)対象事業
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	308,781					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
21 車両基地照明更新工事	

(1 事業目的・内容)

【上永谷車両基地・川和車両基地】

車両基地照明の消費電力を削減しCO2の排出を抑止及び電気料金の削減を目的に、蛍光灯のLED化を周囲の機器への影響及び安全性に配慮しながら調査や導入を実施します。

また水俣条約第5回締約国会議で2027年に蛍光灯の製造が廃止されること決定したため順次、蛍光灯のLED化を進めます。

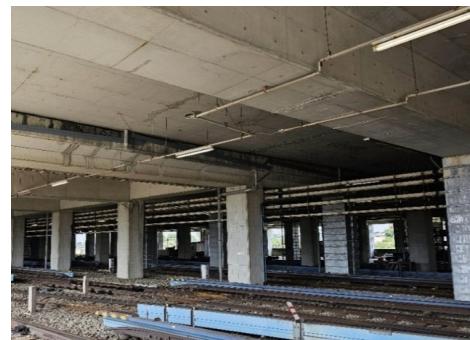
【新羽車両基地】

新羽車両基地1階及び3階のLED化、2階にある車両の留置線にて使用している蛍光灯器具及びケーブル、分電盤について更新を行います。

基地2階について、天井部からの漏水の影響で防水対応でない器具の故障が多発しており、劣化も進行していることから防水仕様のLED器具にて更新を行います。

また、1階から3階の各居室等に関してもLED化を行うことでCO2及び電気料金の削減を図ります。

		令和7年	令和8年	令和9年
新羽車両基地	設計委託	←→		
	更新工事		←→	
上永谷・川和車両基地	更新工事		←→	



(2 前年度から変更・見直しした点)

新羽車両基地の設計委託が不調となつたため更新工事の工期を令和9年に変更。

蛍光灯が入手できなくなることから上永谷・川和車両基地を追加。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有 公営企業債(脱炭素化事業)対象事業
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	72,270					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
22 隧道照明更新工事	

(1 事業目的・内容)

ずい道(トンネル)内の照明器具をLED照明器具に更新します。

ブルーライン及びグリーンラインのずい道内の照明器具は、鉄道に関する技術上の基準を定める省令の避難設備として設置しています。非常時の際は、速やかに点灯するものとし、設計・運用されている照明器具です。

また、トンネル内は保守職員が点検のために昼夜歩行するため、これらの照明器具を常時点灯(24時間365日)として運用しています。

【LED化による効果(令和7年度工事分)】

消費電力の削減量(予定): 年間292,584kWh

CO2削減量(予定): 年間131t

蛍光灯交換にかかる保守点検(年間約90日:全線): LED化により大幅減が見込める

【今後の計画】

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業計画 区間	灯数 1344	1387	1209	1274
	湘南台～上永谷	上永谷～伊勢佐木長者町	片倉町～あざみ野	中山～日吉
	伊勢佐木長者町～横浜	横浜～片倉町		
進捗率(予定)	25.8%	52.4%	75.6%	100.0%

ブルーラインは令和8年度に、グリーンラインは令和9年度にLED化が完了する予定です。



(2 前年度から変更・見直しした点)

ずい道照明(イメージ)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・鉄道に関する技術上の基準を定める省令

第二十九条 (地下駅等の整備)

2 地下駅等には、施設の状況に応じ、必要な消火設備、避難設備その他の火災対策設備を設けなければならない。

・横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有 公営企業債(脱炭素化事業)対象事業
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	296,390					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
23 誘導灯更新工事	

(1 事業目的・内容)

蛍光灯および冷陰極管を使用している誘導灯の更新を行います。

蛍光灯を使用している誘導灯については、令和9年度末で、蛍光灯の製造及び輸出入が禁止となり、保守が困難となります。

冷陰極管を使用している誘導灯については、冷陰極管の生産が既に終了しており、保守部品の入手が難しいため更新を行います。

【事業計画】

令和7年度 中山駅～日吉駅、4号線の変電所、川和車両基地、仲町台駅、北新横浜駅

令和8年度 令和7年度に施工を行っていない場所(改修予定のある箇所を除く)



蛍光灯を使用している誘導灯



LEDを使用している誘導灯

(2 前年度から変更・見直しした点)

施工場所の変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	38,853					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
24 直流電源装置更新工事	

(1 事業目的・内容)

直流電源装置は停電時に駅の非常灯を点灯させたり、電気室及び変電所の開閉器の動作や故障検出を行う継電器への電源を供給しています。

令和8年度は下飯田変電所、踊場変電所、桜木町駅の直流電源装置の機器更新を行い、機器の健全性の維持・確保を行います。
更新計画は直流電源装置の設置から30年経過した装置に対して、鉛蓄電池の寿命を考慮して計画しています。

<年間計画表>

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
場所	北新横浜駅・あざみ野駅・中川駅 和泉変電所・牛久保変電所	下飯田変電所・踊場変電所 桜木町駅	上大岡駅、新羽車両基地
製造年・更新時 経過年数	北新横浜・あざみ野・牛久保・中川 1992年・33年経過 和泉 1998年・27年経過	下飯田・踊場 1998年・28年経過 桜木町 1995年・31年経過	上大岡・新羽車両基地 1995年・32年経過
蓄電池交換 実施年・ 蓄電池経過年 数	北新横浜 2016年・9年経過 あざみ野 2019年・6年経過 牛久保 2010年・15年経過 和泉 2013年・12年経過 中川 2015年・10年経過	下飯田 2016年・8年経過 桜木町 2017年・9年経過 踊場はR4に交換済みのため既 存流用	上大岡・新羽車両基地 2017年・10年経過
内容	蓄電池交換及び 整流器更新	蓄電池交換及び 整流器更新	蓄電池交換及び 整流器更新

<年度計画表>

件名	令和7年度	令和8年度	令和9年度
北新横浜、あざみ野、中川、和泉、牛久保	●	●	
下飯田、踊場、桜木町	●	●	●
茅ヶ崎、北の谷、上大岡、新羽基地		●	●

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有 2016-20-00061
 無 2013-20-00024
2017-20-00059

(5 補助対象の有無)

有
 無



【参考】直流電源装置

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	115,678					
債務負担設定	60,000					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
25 防災設備更新工事	6,050

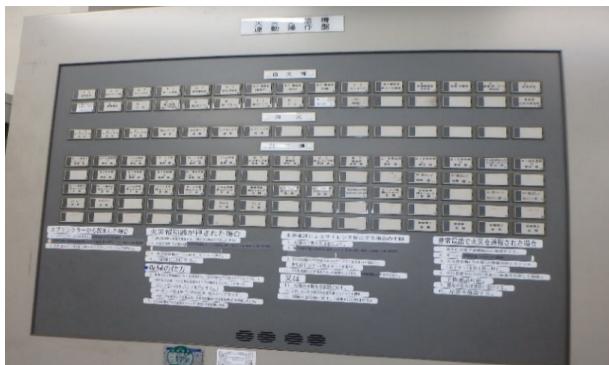
(1 事業目的・内容)

あざみ野駅の防災設備(火災受信機、防災監視盤)の更新のための設計委託を実施します。

火災受信機は、設置から30年以上が経過し、修理に必要な部品の入手が困難となっており、一旦故障が発生してしまうと修理対応に時間を要する懸念があります。更新し、安全性の維持に努めます。

防災監視盤はすでに修理に必要な部品が生産中止となり、故障した際に修理ができない状態となっています。

防災監視盤はあざみ野駅開業当初から設置しており、排煙制御系スイッチ類、非常電話設備、駅構内の照明スイッチが一体型となっているため、単独での更新ができず、修理がしにくいため、それぞれ独立した盤に更新します。



火災受信機



防災監視盤

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
設計	→ 積算・発注		
	工事	→	

(2 前年度から変更・見直しした点)

契約額(+設計変更予定分)に修正。

令和7年度の前払い金(30%)を支払いしないこととなったため、完了払い金として令和8年度の予算増額。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

根拠条例(設置基準)

消防法第17条、消防法施行令第21条、横浜市火災予防条例51条ほか
防火対象物の用途、規模に応じて設置し、点検・維持を行う義務がある。

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	2,400	6,050				
債務負担設定	5,600					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
26 自動火災報知設備受信機更新工事	

(1 事業目的・内容)

自動火災報知設備の受信機更新を行います。
自動火災報知設備は、居室等に設置されている感知器が熱や煙を感知し、受信機に火災信号などを送り知らせます。また受信機は警報を発し、火災地区を表示し地区ペルなどを鳴動させ建物内に居る人に火災の発生を知らせる設備です。
設置から25年以上が経過し、両受信機で不具合が発生しています。火災受信機はすでに修理に必要な部品が生産中止となり、修理ができない状態となっています。
受信機が正常に動作しない場合、火災が発生した際に、お客様および職員の退避が遅れる懸念があります。
そのため受信機を更新し、安全性の確保に努めます。

不具合一覧

- ・中田駅 製造年1999年 27年経過
地区受信回路異常として警報が頻繁に発生中。
受信機の基盤よりチャタリング発生中。
- ・上永谷車両基地 製造年1998年 28年経過
受信機故障が頻発に発生中。
受信機の基盤よりチャタリング発生中。



(2 前年度から変更・見直しした点)

新規案件

自動火災報知設備受信機

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

●根拠条例(設置基準)

消防法第17条、消防法施行令第21条、その他、横浜市火災予防条例第51条等、防火対象物の用途・規模に応じて設置し、点検・維持を行う義務がある。

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
27 区分開閉器更新	0

(1 事業目的・内容)

区分開閉器は、電力回路を安全に開閉する設備です。

桜木町駅に設置している直流区分開閉器は製造から50年、三ツ沢上町駅に設置しているものは41年が経過しております。

本設備は列車走行用の電力開閉器であり、電気事故等発生時に回路を遮断するほか、三ツ沢上町駅のものは平日の営業運転終了後にいち早く不要な区間の電力供給を停止する部分き電停止に用いるため、保守作業や工事を効率良く行うために欠かせない設備です。

既設設備には以下の課題があるため、更新を行います。

・老朽化により機器の故障リスクがある

・機器故障時には部分き電停止が行えず、保守作業や工事の作業可能時間が短くなってしまう

【事業計画】

	設置年	経過年数	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
上大岡駅	1975年	50	●	●	●			
三ツ沢上町駅	1984年	41	●	●	●	●	●	
桜木町駅	1975年	50	●	●	●	●	●	
弘明寺駅	1972年	53		●	●	●	●	
阪東橋駅	1972年	53		●	●	●	●	

●—● 開閉器購入

●—● 開閉器設置工事



(2 前年度から変更・見直しした点)

開閉頻度の高い三ツ沢上町駅の更新を早めるとともに、キュービクル型と開放型の更新がそれぞれ同一年度になるようスケジュールを見直しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
28 川和車両基地区分開閉器更新	

(1 事業目的・内容)

川和車両基地において列車の点検整備を行うにあたり、工場内の各番線のき電を個別に管理出来るよう、それぞれに直流遮断器を設けております。列車の点検整備に際してき電の「入」「切」を行うことから、直流遮断器2台の回数がメーカー更新推奨時期を大幅に超えております。このことから、直流遮断器の故障が複数回発生しており、車両の点検整備に支障をきたす恐れがあります。よって回数を大幅に超過している直流遮断器2台を更新し、車両の点検整備を確実なものとします。



(2 前年度から変更・見直しした点)

新規

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
29 電気融雪装置更新工事	

(1 事業目的・内容)

電気融雪装置(電気融雪器、センサー、制御盤、ケーブル等)一式の更新を行います。
電気融雪器は地上の分岐部に設置し、分岐部の転換不良を防止するための設備です。
除雪時に作動させることによりレールを加熱し、分岐部の雪を溶かすことで可動部への雪の堆積を防止します。
設置から30年以上が経過し老朽化しており、列車の安全運行のため設備の更新を実施します。

【事業計画】

	R7	R8	R9	R10	R11	R12
新羽駅	↔					
センター北駅 (BL)		↔				
新羽基地			↔			
上永谷駅				↔		
上永谷基地					↔	



電気融雪器

(2 前年度から変更・見直しした点)



(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

融雪器制御盤

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費		24,514				
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
30 架線保守用工具	

(1 事業目的・内容)

現在4号線では直営での保守・整備力向上に伴いこれまで行っていなかった作業にも積極的に取り組み更なる技術力向上を目指しております。

新たな取り組みとして剛体電車線への添線作業を予定しておりトロリ線を直線に伸ばした状態で設置することから伸直機はこの作業には不可欠となっております。また、張線器やトロリ線測定用定規は開業当時から使用していることから経年劣化による不具合により作業に支障をきたしております。

そして、トロリ線の測定器は作業者による測定の差異を無くし、均一な作業品質を確保することにより運行支障の未然防止につながります。

OK 981 m	本日 96	～	本日 97	本日 AJ3	11.76	mm
4K 040 m	東高 44	～	東高 45	東高 AJ2	11.52	mm
12K 970 m	中川 17				11.06	mm

OK 260 m	日本 62	～	日本 63	9.94	mm
OK 270 m	日本 65			11.52	mm
OK 369 m	日本 86	～	日本 87	日本 AJ2	10.95 mm

上記表は今後添線などの対応が必要となる箇所です。



(2 前年度から変更・見直した点)

新規

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
31 サードレール定規(標準器、エンドアプローチ用含む)	

(1 事業目的・内容)

サードレールのずれを測定するために使用する定規を購入します。

サードレールは碍子の上に自重のみで支持されており特別固定はされておりません。そのため、列車通過時の微細な振動で本来の据付け位置からずれが生じることがあります。そのずれをサードレール定規で測定を行い、点検及び調整を行い列車の運行の安全を保ちます。



サードレールの測定風景

購入数量

上永谷電気区	1本
新羽電気区	1本

(2 前年度から変更・見直しした点)

新規

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

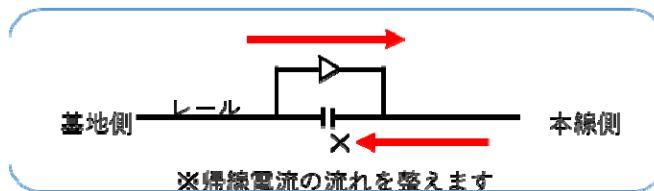
(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
32 帰線自動開閉器更新委託	

(1 事業目的・内容)

上永谷基地の帰線自動開閉器は帰線電流の迷走防止・基地内走行レールの電位上昇防止等を目的に設置されています。本設備には低濃度PCBが使用されており、令和8年度末までの処分が義務付けられています。令和7年度に購入した帰線自動開閉器を支給し、全4台の更新を行います。

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
機器製作	機器製作	納入	機器更新



帰線自動開閉器

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有 1988-20-00049
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	19,800					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
33 信号設備ユニット類更新作業(横浜)	219,395

(1 事業目的・内容)

①電子連動装置

信号保安設備の一つである電子連動装置は、進路の構成や転てつ機の鎖錠など、停車場において列車の安全運行を確保するための装置です。

今回更新する横浜駅停車場の電子連動装置は、設置後約15年(2007年7月設置)が経過しており、電子連動装置の主要構成品である各ユニットのコンデンサー、継電器その他の経年劣化部品(期待寿命10年)の更新を行うことで、信号保安設備の故障の未然防止および延命化を図ります。

②ATC装置

信号保安設備の一つであるATC装置は、列車の在線位置を検知して、先行列車に衝突しないよう各区間の許容速度を決定して列車に送信し、列車の安全運行を確保するための装置です。

今回更新する横浜停車場のATC装置は、設置後約15年(2007年7月)が経過しており、経年劣化部品(期待寿命10年)である各ユニット内のコンデンサー、ロータリースイッチ、電源コンバータ、継電器を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

③信号モニタ装置

信号設備の一つである信号モニタ装置は、ATC装置や連動装置など各信号設備の状態を監視して故障や異常を表示するとともに、各信号設備の動作を記録して動作の解析や障害発生時の調査をおこなうためのモニタ装置です。

今回更新する横浜停車場の信号モニタ装置は、設置後約15年(2007年7月)が経過しており、信号モニタ装置の主要構成品であるファクトリーコンピュータはすでにメーカーのサポート期間も切れて交換部品が入手できず、修理ができない状態です。したがって、ファクトリーコンピュータや経年劣化部品(期待寿命10年)であるスイッチング電源や通信機器を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

R3年度 横浜信号機器室(設置後14年経過)
R4年度 横浜信号機器室(設置後15年経過)
R5年度 横浜信号機器室(設置後16年経過)
R6年度 横浜信号機器室(設置後17年経過)
R7年度 横浜信号機器室(設置後18年経過)
R8年度 横浜信号機器室(設置後19年経過)

収益減少のため延期
収益減少のため延期
使用機材の長納期化の影響で延期
事業化
継続事業2年目
継続事業3年目(完了)

装置名	更新周期	2007 平成19	2019 令和1	2020 令和2	2021 令和3	2022 令和4	2023 令和5	2024 令和6	2025 令和7	2026 令和8	2027 令和9	2035 令和17	2036 令和18	
												~	更新予定	更新予定
ATC・連動・モニタ	25年	設置			OH延期	OH延期	OH延期	OH予定	OH予定	OH予定	BT予定			
電源装置	25年	設置	BT済	OH済								BT予定	更新予定	更新予定

BT:蓄電池のみ OH:ユニット類更新 更新:装置全体更新

(2 前年度から変更・見直しした点)

継続事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費		219,395				219,395
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
34 信号設備ユニット類更新作業(上永谷車両基地試運転線)	85,206

(1 事業目的・内容)

①ATC試験装置

信号保安設備の一つであるATC装置は、列車の在線位置を検知して、先行列車に衝突しないよう各区間の許容速度を決定して列車に送信し、列車の安全運行を確保するための装置です。

上永谷車両基地のATC試験装置は設置後約15年が経過しており、経年劣化部品(期待寿命10年)である各ユニット内のコンデンサー、ロータリースイッチ、電源コンバータ、継電器を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

②信号用電源装置

信号用電源装置は、ATC試験装置に安定した電力を供給するための装置です。

ATC試験装置と同様、設置後約15年が経過しており、経年劣化部品(期待寿命10年)である各ユニット内のコンデンサー、スイッチング回路等を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

R6年度 上永谷車両基地試運転線装置(設置後15年経過) 事業化

R7年度 上永谷車両基地試運転線装置(設置後16年経過) 事業化2年目

R8年度 上永谷車両基地試運転線装置(設置後17年経過) 事業化3年目(完了)



試験ATC送信架



信号用電源装置

(2 前年度から変更・見直しした点)

継続事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

※車両基地の試運転線用設備で、営業線用設備ではないため、根拠法令なし

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費		85,206				85,206
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
35 軌道モーターカー購入	66,000

(1 事業目的・内容)

更新を計画している保守用モーターカーは、製造から25年が経過(1998年製造)し、故障が頻発しており修理部品の入手が困難な状況です。そのため、経年故障の修理対応に苦慮することや、修理期間中はモーターカーが使用できないため、工事時期にも支障を及ぼすなどの問題が生じます。

一方、地下鉄の電気、信号、通信や機械を始めとする様々な設備の老朽化も進行しており、保守作業が不可欠な状況となっています。

地下鉄のトンネル内や駅の設備を保守する場合、設備の性質・保守時間上モーターカーでの作業が必要になります。

そのためにもモーターカーの健全性確保が課題となっています。

この課題を解決するためにモーターカーを更新し、安全で効率的な保守作業や緊急・災害時の機動力確保を行います。

また、新型のモーターカーは既存のものよりサイズが大きく、現在のモーターカー車庫に入らないため、車庫の改修を行います。



モーターカー4号車(写真右)



モーターカー11号車

号車	保管場所	用途	製造年
3号車	上永谷	電力	1998
4号車		信通	1998
11号車		工事	2016
12号車	新羽	電力	2018
13号車		信通	2019
14号車		工事	2020

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	33,000	66,000				99,000
債務負担設定	75,900					75,900

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
36 ブルーライン案内表示器更新	

(1 事業目的・内容)

案内表示器は、各駅のコンコースやホームに設置され、列車の行先や発車時刻を表示したり、列車の接近表示をするほか、列車の遅延情報や任意の案内文章なども表示している設備で、旅客サービスの向上を図るための案内設備です。

現在稼働中のブルーラインの案内表示器は、平成17年度から順次設置を進め、全駅のコンコースのほか、主要駅のホームに設置されました。その後、快速運転の開始に伴い、平成26年度には、それまで未設置であった箇所にも設置を行い、すべてのコンコース・ホームへの設置が完了しました。

初期に設置した表示器は、令和7年度で20年が経過し、機器の老朽化が進んでいます。特に、快速運転以前に設置した世代のものは、文字を表示させるLEDパネルや制御基板(中央装置と通信を行いLEDパネルの表示を制御するもの)に使用されている部品の製造が既に終了しており、故障しても修理や同一品の製造ができない状況であるため、保有している予備品の在庫が無くなると、故障した表示器の修理ができないため、旅客サービスを大きく低下させてしまいます。

既設の表示器は、ドットマトリクスLEDパネルを使用しており、基本的に文字色は赤・緑・橙の3色のみで、決められたサイズの文字情報しか表示できないものですが、更新後の表示器には、表現力が高く、ユニバーサルデザインへの配慮にも対応できる液晶ディスプレイタイプを採用します。

更新スケジュールの考え方は、設置時期の古いものから更新することを基本とし、予算の平準化を図るため、複数の発注単位に分割した発注していく計画です。



【事業スケジュール】

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	予定駅数
第1期	■	■	■				17駅
第2期				■	■	■	15駅

(2 前年度から変更・見直しした点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

なし

(4 除却資産の有無)

(5 拠助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
37 1・3号線運行管理システム 対ATO伝送装置交換作業委託	

(1 事業目的・内容)

運行管理システムは、運輸司令業務の効率化と旅客案内サービスの向上をはかるために、電子計算機を使用して列車の運行制御、運行実績記録、在線状況表示、案内放送および案内表示の制御を自動的に行う装置です。

ブルーライン運行管理システムでは、システムがATO(自動列車運転)装置と連携することで、次のような機能を実現しています。

- ◆次駅の到着予定番線などのダイヤ情報を、車上ATO装置(列車に搭載されたATO装置)に伝送する。
- ◆車上ATO装置から列車番号等の情報を受け取り、ダイヤとの照合に使用する。
- ◆出発表示器を制御し、出発時機を運転士に知らせる。
- ◆列車がドアを開けたタイミングでホームの案内放送を流す。

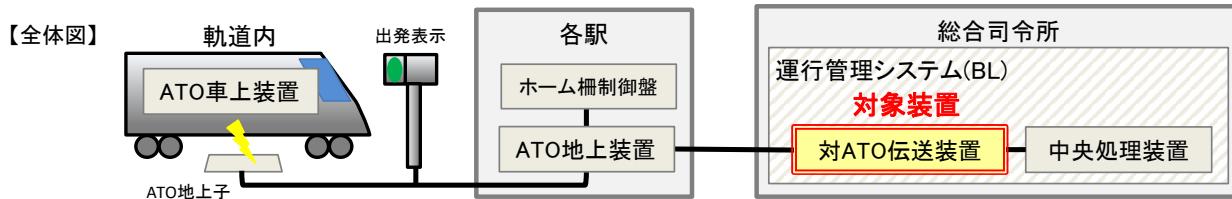
連携が行えない場合は次のような影響があります。

- ◇出発表示器が点灯しなくなる。(ワンマン支援機能が利用できないため運転士の負担増)
- ◇列車がダイヤと異なる列車番号・種別・行先を表示していても警告が出ない。(旅客サービス低下、他の業務へ支障の恐れ)
- ◇車内放送でどちらのドアが開くかの案内ができない。(旅客サービス低下)
- ◇案内放送のタイミングがずれる。(旅客サービス低下)

対ATO伝送装置は、運行管理システム中央処理装置と各駅のATO装置との通信を仲介するもので、両者を連携するために重要な装置ですが、ワンマン運転化に先立ち平成18年度から稼働しており(稼働開始から19年)、装置を構成する計算機の製造は打ち切られており、部品が入手できないため修理もできない状況となっています。

以上の理由から、輸送の安定性を維持するため、対ATO伝送装置を新規に製作し、交換します。

交換は2か年かけて実施し、1年目に機器製作及び工場試験、2年目に交換作業(メーカー間インターフェイス試験を含む)を行います。



(2 前年度から変更・見直しした点)

前年度から継続

R8年度に実施予定のメーカー間インターフェイス試験での試験項目を追加したため、当初予定より増となっています

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第87条第3項 運転保安設備の保持
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有 2007-20-00798, 2007-20-00799, 2007-20-00813
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	420,000					
債務負担設定	141,000					141,000

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
38 4号線運行管理システム 中央及び駅装置交換作業委託	500,000

(1 事業目的・内容)

運行管理システムは、運輸司令業務の効率化と旅客案内サービスの向上をはかるために、電子計算機を使用して列車の運行制御、運行実績記録、在線状況表示、案内放送および案内表示の制御を自動的に行う装置です。

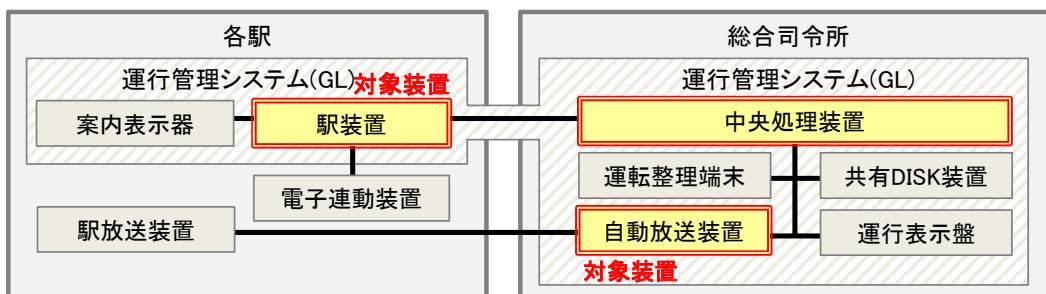
グリーンライン運行管理システムは、中央装置・駅装置のどちらもグリーンライン開業(平成20年)から運用しており、メーカーの交換推奨期間は15年のところ、稼働開始から17年が経過しています。システムを構成する計算機の製造は既に打ち切られており、部品が入手できないため修理が不可能となっている基板が装置内に存在します。

以上の理由から、運輸の安定性を維持するため、これらの機器を新規に製作して交換します。

グリーンラインの運行管理システムの特徴として、総合司令所に中央処理装置を、各駅に駅装置を設置する構成となっています。中央処理装置は、駅装置を通して各駅の信号機器等と直接通信しています。

中央処理装置と駅装置の間は保安に関する重要な情報の伝送を行っており、新旧の機器や通信方式が混在した場合には予期しない動作をする恐れがあるため、中央処理装置及び駅装置の両方を交換します。

また、自動放送装置についても、既設のモデルは製造が打ち切られているため、中央処理装置の通信方式に対応した機種に交換します。



(2 前年度から変更・見直しした点)

前年度から継続

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」 第87条第3項 運転保安設備の保持
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

R9年度にて
 有 2007-20-03377, 2007-20-03387, 2007-20-03386
 無 2007-20-03385, 2007-20-03384, 2007-20-03383
2007-20-03374, 2007-20-03381, 2007-20-03389
2007-20-03379, 2007-20-03378

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	500,000	500,000	430,000			1,430,000
債務負担設定	930,000					930,000

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
39 信号保安装置更新(新羽車両基地)	

(1 事業目的・内容)

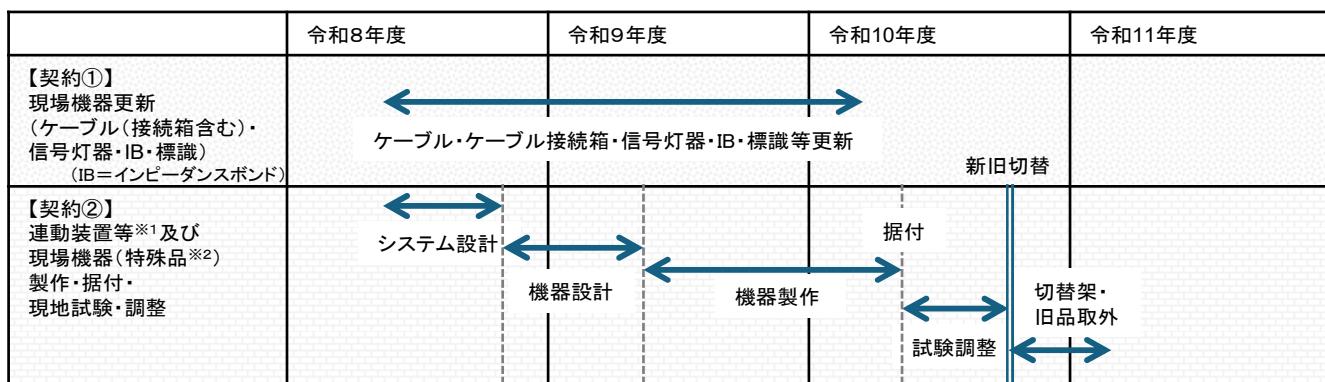
新羽車両基地の信号保安装置(電子連動装置・電源装置ほか)は、平成8年2月に運用開始し、現在約30年が経過しています。

これまでに、装置の安定稼働と長寿命化を図るため、設置後15年を目途に主要部品の更新(オーバーホール)を行い、重大事故や運行阻害に直結する故障の発生を防ぎ、安全性を確保してきたところですが、

- 今後、故障の増加が予測されること
- 主要部品の中には既に製造中止のものがあり、今後の修理対応が困難であること
- 装置内の配線やコネクタ等についても劣化が進んでいること

などの理由から、装置の全面更新が必要です。

令和6年度から令和7年度にかけ、設計業務を進めてきたところですが、令和8年度からは本格的な更新作業に着手します。



※1…電子連動装置(連動制御盤、短絡試験盤含む)、電子端末架(AC・DC・転てつ機・商用周波数軌道回路・IO)、機器収容架(軌道抵抗子等)、外線端子架、PRC装置、誤発車防止装置、ATC試験装置(試運転線用、検車庫用)、信号モニタ装置、信号用電源装置

※2…転てつ器制御箱、現場進路設定箱(LPB・SPB)、MT箱等の連動装置と密接に関係するもの

(2 前年度から変更・見直しした点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第87条第3項 運転保安設備の保持
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有 1995-20-00430, 1995-20-00431, 1995-20-00432,
 有 1995-20-00433, 1995-20-00434, 1995-20-00435,
 無 1995-20-00436, 1995-20-00437, 2011-20-00302,
2011-20-00354, 2011-20-00356, 2012-20-00314,
2014-20-00302, 2014-20-00303, 2016-20-00231,
2017-20-00242

- 有
 無

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
40 1・3号線緊急停止装置改修委託	

(1 事業目的・内容)

緊急停止装置とは、駅のホームから旅客が転落するなど列車を緊急に停止させなければならない事態が発生した場合に、ホームに設置された押しボタンを扱うことで駅に進入、進出する列車を緊急停止させる装置です。

当該装置は設置から20年が経過し、経年劣化による動作不良が発生しているため点検周期を年2回に増やし、不良箇所の早期発見を図っていますが、修理や同型の新規製作が困難な状況のため、根本的な解決には改修が必要です。

また、製作時の設計思想で、ボタンを2~3秒間押し続けなければならない仕様となっていましたが、旅客が慌てて操作をした場合(ボタンを押してすぐに離した場合)十分に動作しない可能性があるため、押した手ごたえのある押し込み式ボタンに装置の仕様を変更します。

R7年度 下飯田6台、中田6台、上大岡4台、弘明寺6台、蒔田6台 (10駅50台、予備5台)

阪東橋4台、伊勢佐木長者町4台、片倉町6台、センター南4台、あざみ野4台、予備品5台

◎ R8年度 下永谷6台、港南中央6台、三ツ沢下町6台、センター北4台、中川6台 (5駅28台、予備2台)

R9年度 舞岡6台、三ツ沢上町6台、岸根公園6台、新横浜4台、戸塚4台 (5駅26台、予備2台)



緊急停止装置(既設)



緊急停止装置(新設)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

■ 有	下永谷	2001-20-00241
□ 無	港南中央	2002-20-00183
	三ツ沢下町	2001-20-00242
	センター北	2001-20-00240の一部
	中川	2002-20-00191

(5 補助対象の有無)

□ 有
■ 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
41 信号保安装置更新工事(センター北)(実施設計)	

(1 事業目的・内容)

センター北駅の信号保安装置(運動装置、電源装置)は、運用開始後約33年経過しています。これまでに、装置の安定稼働と長寿命化を図るため、設置後15年を目途に主要部品の更新(オーバーホール)を行い、重大事故や運行阻害に直結する故障の発生を防ぎ、安全性を確保してきました。

- ・今後、故障の増加が予測されること
- ・主要部品の中には既に製造中止のものがあり、今後の修理対応が困難であること
- ・装置内の配線やコネクタ等についても劣化が進んでいること

などの理由から、装置の全面更新が必要です。

令和8年度から、更新する装置の仕様の検討や工事の積算を進めるため、設計業務を委託しており、令和9年度まで継続して事業を実施します。

■ 更新計画



(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
42 1・3号線信号システム更新に伴う線路内設備設計委託	

(1 事業目的・内容)

高速鉄道1号線及び3号線(ブルーライン)の信号保安装置について、今後の設備のスリム化及び保守の省力化を図るため、最新の技術を利用した信号保安システムの導入に向けた軌道内の実施設計を委託します。

	令和8年度	令和9年度	令和10年度
軌道内現場調査	←	→	
図面作成	←	→	
積算 (軌道内BS設置工事)	←	→	
積算 (軌道内ケーブル敷設工事)		←	→

(2 前年度から変更・見直しした点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

なし

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
43 直流電源装置更新(センター北・あざみ野)	0

(1 事業目的・内容)

直流電源装置は、信号保安設備である連動装置、ATC装置などに安定した電源を供給するための重要な装置です。

センター北とあざみ野に導入されている直流電源装置は、平成5年に導入してから、すでに30年が経過しています。

これまで、蓄電池の交換や部分更新により延命化を図っておきましたが、トランスやケーブル類など交換できない部分は経年劣化が進んでおり、故障も発生しています。

このため、直流電源装置の全面更新を行います。

■事業計画	
令和8年	令和9年
設計・契約	更新



(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

R9年度にて
 有 センター北駅 2008-20-00227
 無 あざみ野駅 2009-20-00712

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
44 放送装置更新工事(東山田駅ほか2駅)	49,200

(1 事業目的・内容)

【目的】

老朽化した放送設備では、すでに修理部品が製造中止となっているため、故障が発生した場合は長時間にわたって駅全体の放送が停止してしまいます。また、非常放送装置が停止すると、火災時等の警戒放送及び乗降促進放送が鳴動しなくなり、消防法令違反となり列車運行ができません。

よって、放送設備を更新することにより、駅の非常放送と旅客案内サービスを維持させるものです。

【目標】

機器の更新について、推奨更新周期が12年です。今後は故障頻度の多くなる15年～18年程度を目安に更新計画表をもとに更新を行います。

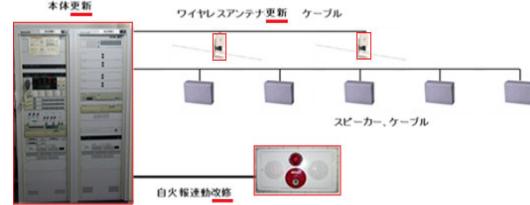
軽度な不具合等が発生した場合は、部品の交換・修理等することで機器の延命措置をしてきましたが、設置後19年以上が経過している東山田駅ほか2駅については、令和7年度に更新の発注を行います。

【課題】

現在の放送設備は現行消防法に対応済みのため最小限の設備の更新とし、スピーカーやスピーカーケーブルは既設を再使用してコスト縮減を図りつつ、計画的に放送装置の更新を進捗させます。

【機器構成】

非常放送機・本体	更新
スピーカー	対象外
ケーブル類	対象外
ワイヤレス機器	更新



R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
戸塚 R04更新	高島町 H16更新	中山 R6更新	東山田 R7更新	東山田 R7更新
(中山) H19導入	吉野町 H16更新	高田 R6更新	北山田 R7更新	北山田 R7更新
	(中山) H19導入		都筑ふれあいの丘 R7更新	都筑ふれあいの丘 R7更新
	(日吉本町) H19導入			
	(日吉) H19導入			
事業費	55,000	55,000	85,800	83,520

※()は予算化できなかった駅

※4号線の更新は、3駅ずつで計画、2駅ずつの更新では耐用年数の20年を超過してしまい、機器の信頼性が担保できない。

(2 前年度から変更・見直しした点)

施工時期平準化を目的とした施工期間1年未満工事の債務負担設定を適用

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

消防法および横浜市火災予防条例

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

<input checked="" type="checkbox"/> 有 東山田 2007-20-03517	放送設備	<input type="checkbox"/> 有
<input type="checkbox"/> 無 北山田 2007-20-03540	放送設備	<input checked="" type="checkbox"/> 無
都筑ふれあいの丘 2007-20-03538	放送設備	

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	34,320	49,200				83,520
債務負担設定	51,480					51,480

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目 担 当
款: 12 高速鉄道事業資本の支出 項: 01 建設改良費
目: 05 改良費 所属: 電気課
課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(单位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
45 放送装置更新工事(センター北駅ほか2駅)	

(1 事業目的・内容)

(目的)

老朽化した放送設備では、すでに修理部品が製造中止となっているため、故障が発生した場合は長時間にわたって駅全体の放送が停止してしまいます。また、非常放送装置が停止すると、火災時等の警戒放送及び乗降促進放送が鳴動しなくなり、消防法令違反となり列車運行ができません。

よって、放送設備を更新することにより、駅の非常放送と旅客案内サービスを維持させるものです。

【目標】

機器の更新について、推奨更新周期が12年です。今後は故障頻度の多くなる15年～18年程度を目安に更新計画表をもとに更新を行います。

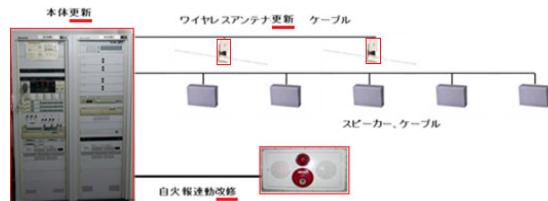
軽度な不具合等が発生した場合は、部品の交換・修理等することで機器の延命措置をしてきましたが、設置後19年以上が経過しているセンター北駅ほか2駅については、令和8年度に更新の発注を行います。

【課題】

現在の放送設備は現行消防法に対応済みのため最小限の設備の更新とし、原則としてスピーカーやスピーカーケーブルは既設を再使用してコスト縮減を図りつつ、計画的に放送装置の更新を進捗させます(ただし、劣化の著しい明かり区間のホームスピーカーは更新します)。

【機器構成】

非常放送機・本体	更新
スピーカー	一部更新
ケーブル類	対象外
ワイヤレス機器	更新



R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
戸塚 R04更新	高島町 H16更新	中山 R6更新	東山田 R7更新	センター北 H19導入	センター南 H19更新	あざみ野 H24更新
(中山) H19導入	吉野町 H16更新	高田 R6更新	北山田 R7更新	日吉本町 H19導入	川和町 H19導入	中川 H24更新
	(中山) H19導入		都筑ふれあいの丘 R7更新	日吉 H19導入	横浜 H20更新	桜木町 H22更新
	(日吉本町) H19導入					
	(日吉) H19導入					
事業費	55,000	55,000	83,520			

※()は予算化できなかった駅

※4号線の更新は、3駅ずつで計画、2駅ずつの更新では耐用年数の20年を超過してしまい、機器の信頼性が担保できない。

(2 前年度から変更・見直しした点)

施工時期平準化を目的とした施工期間1年未満工事の債務負担設定を適用

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

消防法および横浜市火災予防条例

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

■ 有 センター北 2007-20-00232 放送設備
□ 無 日吉本町 2007-20-03544 放送設備
日吉 2007-20-03528 放送設備

□ 有無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
46 ITVカメラネットワーク化工事(仲町台駅ほか)	

(1) 事業目的・内容)

【目的】

現在、GL全駅とBL主要駅のホーム映像は司令所から監視することができますが、今後はその対象を拡大し、司令所がいち早く駅の状況を把握し、乗務員や駅係員に的確な指示が出せるよう整備していきます。

また、お客様が駅構内で不審物や不審者を発見した場合や、トラブル発生時、急病人を見かけた際に、迅速に駅係員に連絡が出来るよう連絡手段を確保します。

【目標】

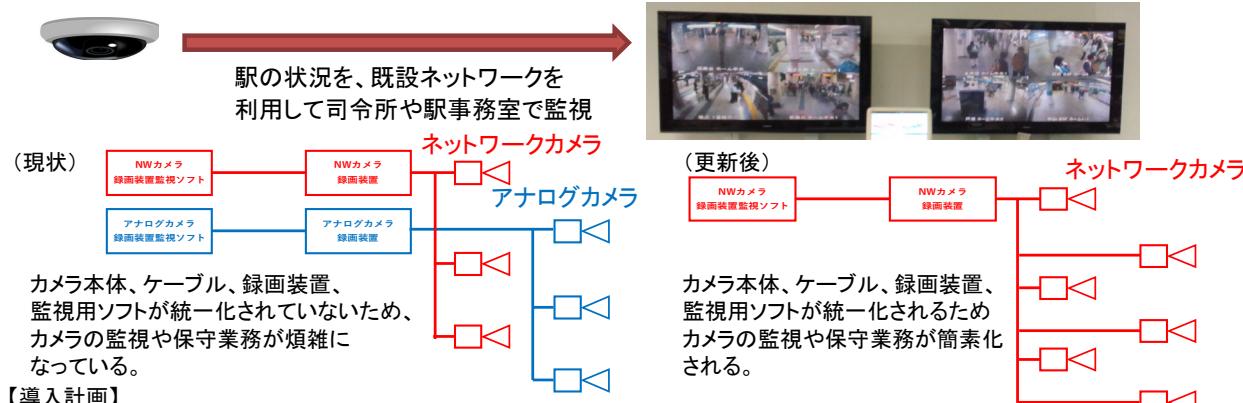
・BLの駅は非監視部が多く存在するため、ホームを含め監視範囲を増加させます。

・BLではアナログカメラとネットワークカメラが混在している駅があり、カメラの監視や保守業務が煩雑になっています。また、現在設置されているアナログカメラは老朽化がすすみ、故障が発生した場合はカメラが長期間停止する場合もあります。

そこで、ネットワークカメラに更新・統合することにより、監視機能の強化及び効率化を図りつつ、高画質化します。

【課題】

現在設置されているアナログカメラは製造が終了している機種もあり、故障が発生した場合は長期間監視できない場所が生じます。このため、ITVカメラのネットワークカメラ化を順次進めています。令和7・8年度は、導入計画に基づき、仲町台駅、新羽駅、北新横浜駅、岸根公園駅、片倉町駅、中田駅についてITVの更新と、ネットワーク網を利用したIPインターホンの設置を行います。



【導入計画】

R5・R6済	R7・R8実施 (当初R6・R7予定)	R7・R8予定	R8・R9予定
三ツ沢上町	仲町台	中川	関内
三ツ沢下町	新羽	センター北	港南中央
横浜	北新横浜	センター南	上永谷
高島町	岸根公園	伊勢佐木長者町	下永谷
踊場	片倉町	吉野町	舞岡
湘南台	中田	蒔田	下飯田
		弘明寺	

(2) 前年度から変更・見直しした点)

当初は令和6・7年度実施予定で発注したが、2回不調となつたため、実施時期が令和7・8年度となった。

労務単価の改定、アスベスト処理費、週休2日工事適用に伴い、当初計画よりも増額となっている。

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

駅務管理所からの要望

(4) 除却資産の有無)

(5) 補助対象の有無)

■ 有	1992-20-00798	2007-20-00485	2001-20-00202	□ 有
□ 無	1992-20-00797	1984-20-00340	2001-20-00199	■ 無
	2001-20-00198	1984-20-00338	2007-20-00769	

(6) 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	130,600					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
47 ITVカメラネットワーク化工事(中川駅ほか)	

(1 事業目的・内容)

【目的】

現在、GL全駅とBL主要駅のホーム映像は司令所から監視することができますが、今後はその対象を拡大し、司令所がいち早く駅の状況を把握し、乗務員や駅係員に的確な指示が出せるよう整備していきます。

また、お客様が駅構内で不審物や不審者を発見した場合や、トラブル発生時、急病人を見かけた際に、迅速に駅係員に連絡が出来るよう連絡手段を確保します。

【目標】

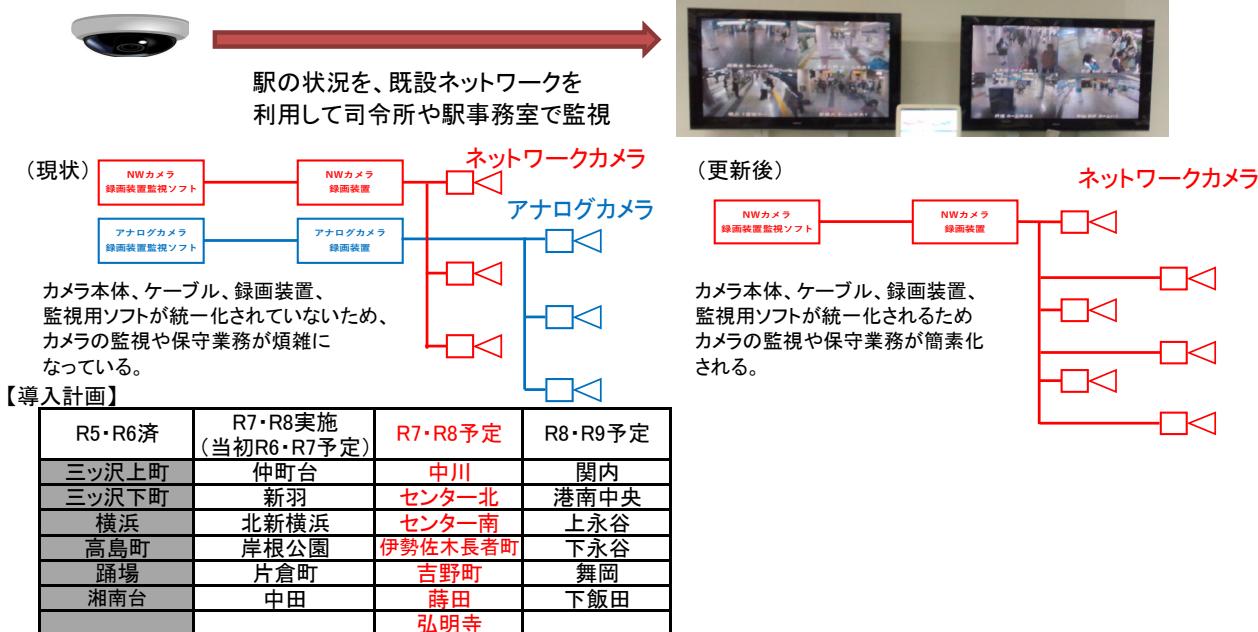
・BLの駅は非監視部が多く存在するため、ホームを含め監視範囲を増加させます。

・BLではアナログカメラとネットワークカメラが混在している駅があり、カメラの監視や保守業務が煩雑になっています。また、現在設置されているアナログカメラは老朽化がすすみ、故障が発生した場合はカメラが長期間停止する場合もあります。

そこで、ネットワークカメラに更新・統合することにより、監視機能の強化及び効率化を図りつつ、高画質化します。

【課題】

現在設置されているアナログカメラは製造が終了している機種もあり、故障が発生した場合は長期間監視できない場所が生じます。このため、ITVカメラのネットワークカメラ化を順次進めています。令和7・8年度は、導入計画に基づき、中川駅、センター北駅、センター南駅、伊勢佐木長者町駅、吉野町駅、藤田駅、弘明寺駅についてITVの更新と、ネットワーク網を利用したIPインターホンの設置を行います。あわせて、戸塚駅についてもIPインターホンの設置を行います。



(2 前年度から変更・見直しした点)

施工時期平準化を目的とした施工期間1年未満工事の債務負担設定を適用

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

駅務管理所からの要望

(4 除却資産の有無)

■ 有	1989-20-00085	2003-20-00164	2003-20-00165
□ 無	2011-20-00297	2012-20-00200	2013-20-00085

(5 補助対象の有無)

□ 有
■ 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
48 ITVカメラネットワーク化工事(関内駅ほか)	

(1) 事業目的・内容)

【目的】

現在、GL全駅とBL主要駅のホーム映像は司令所から監視することができますが、今後はその対象を拡大し、司令所がいち早く駅の状況を把握し、乗務員や駅係員に的確な指示が出せるよう整備していきます。

また、お客様が駅構内で不審物や不審者を発見した場合や、トラブル発生時、急病人を見かけた際に、迅速に駅係員に連絡が出来るよう連絡手段を確保します。

【目標】

・BLの駅は非監視部が多く存在するため、ホームを含め監視範囲を増加させます。

・BLではアナログカメラとネットワークカメラが混在している駅があり、カメラの監視や保守業務が煩雑になっています。また、現在設置されているアナログカメラは老朽化がすすみ、故障が発生した場合はカメラが長期間停止する場合もあります。

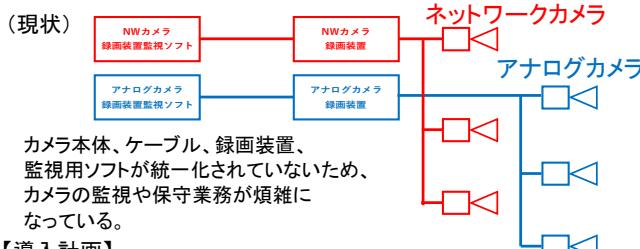
そこで、ネットワークカメラに更新・統合することにより、監視機能の強化及び効率化を図りつつ、高画質化します。

【課題】

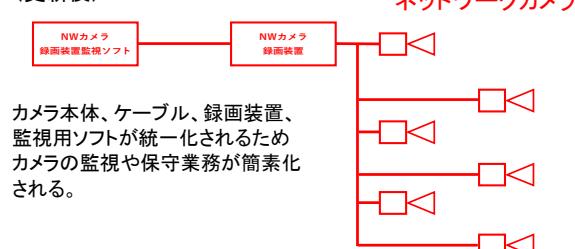
現在設置されているアナログカメラは製造が終了している機種もあり、故障が発生した場合は長期間監視できない場所が生じます。このため、ITVカメラのネットワークカメラ化を順次進めています。令和8・9年度は、導入計画に基づき、関内駅、港南中央駅、上永谷駅、下永谷駅、舞岡駅、下飯田駅についてITVの更新と、ネットワーク網を利用したIPインターホンの設置を行います。これによりBLすべての駅の更新計画が完了します。



駅の状況を、既設ネットワークを利用して司令所や駅事務室で監視



(更新後)



【導入計画】

R5・R6済	R7・R8実施 (当初R6・R7予定)	R7・R8予定	R8・R9予定
三ツ沢上町	仲町台	中川	関内
三ツ沢下町	新羽	センター北	港南中央
横浜	北新横浜	センター南	上永谷
高島町	岸根公園	伊勢佐木長者町	下永谷
踊場	片倉町	吉野町	舞岡
湘南台	中田	薛田	下飯田
			弘明寺

(2) 前年度から変更・見直しした点)

施工時期平準化を目的とした施工期間1年未満工事の債務負担設定を適用

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

駅務管理所からの要望

(4) 除却資産の有無)

(5) 補助対象の有無)

有 令和9年度除却あり
 無

有
 無

(6) 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
49 4号線列車無線装置更新	443,300

(1 事業目的・内容)

● グリーン列車無線装置

列車無線装置は、安全の確保と円滑な運行管理を保つために司令所一列車間で情報を伝達するための無線装置です。
通話以外の主な機能として、

- ・一斉停止(司令所から全列車を緊急停止させる)
 - ・非常通報(乗客が客室に設置されている非常通報装置から司令所を呼び出す)
 - ・一斉放送(司令所から各列車に一斉に放送する)
 - ・地震通報(地震発生時に各列車へ自動通報する)
 - ・防護発報(事故発生時等、運転士が近辺の列車を停止させる。ワンマン運転での必須機能)
- 等があります。

● 地上装置更新について

本装置は平成19年3月の開業以来使用しており、現行の列車無線装置に対応できる携帯防護無線機の増設・修理が困難となっています。

携帯防護無線機が不足するとグリーンラインでワンマン運転が行えず、運用に多大な影響を及ぼします。
また中央装置・基地局等の地上装置も老朽化していることから、これらの機器を更新します。



中央装置
(司令所機器室)



基地局
(信号通信機器室)



携帯防護無線機

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
経過年数	17	18	19	20
地上装置		機器製作	機器設置	★新旧切替 試験調整 旧装置撤去

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 60条

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有 列車無線装置(令和9年度除却)
 無 2007-20-03602
2007-20-03613～03614
2007-20-03616
2007-20-03618～03620
2007-20-03631

- 有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費		443,300	284,207			727,507
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
50 1・3号線CCTVカメラほか更新作業委託	

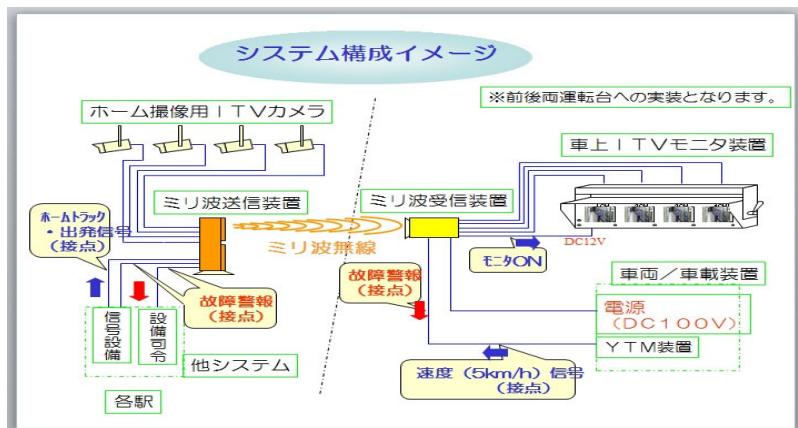
(1 事業目的・内容)

本設備はワンマン運転の支援設備で、ホーム撮影用CCTVカメラで撮影したお客様の乗降画像を、ミリ波送信装置を使用した無線電波で車上に伝送するものです。運転士は、運転台の車上TVモニター装置に映し出される映像を確認し、ホーム柵及び列車扉の開閉操作を行います。

CCTVカメラは更新してから8年経過しています。そのため故障頻度が高くなっています。そのため保守作業(メンテナンス)に支障が生じている状況です。CCTVカメラが故障した場合は、安全上の理由からホーム柵及び列車扉の開閉操作に駅員が必ず立ち会うことになり、ワンマン運転や駅業務に支障が生じます。

以上の理由により、CCTVカメラを更新します。乗降監視がしづらいため安全を確保できない駅については、CCTVカメラを増設します。

また、CCTVカメラの更新に伴い、新しいカメラに適合した録画装置に更新します。録画装置を更新することにより、CCTVカメラの映像を駅事務室で確認できるようになるため、乗降監視用だけではなく防犯用にも用途が広がります。



【CCTVカメラ】



(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信設備整備心得

運転課からの要望

(4 除却資産の有無)

有
 無
CCTVカメラ
2016-20-00667～00698

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
--------	--------

51 保守用無線更新

(1) 事業目的・内容

保守用無線局は、保守上の業務連絡に用いるほか、大規模災害発生時などの緊急連絡手段として、総合司令所や各保守管理所に通信所を置くほか、保守管理所の緊急自動車への車載局や携帯局などが配備されています。

しかし、

○上永谷、新羽基地局無線機は11年経過しており、老朽化が進んでいる。

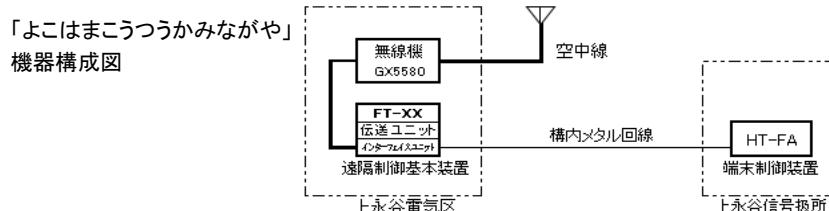
○現在の機種は製造中止であり、修理パーツの供給体制に懸念が生じる。

以上のことから、無線局の更新を計画的に進めていきます。

新基地局無線機の仕様

○無線部・遠隔部が専用の一体型ではなく、細分化されているため、部分的な拡張性が高い。

○専用設計ではなく、汎用品であるため、コストが安い。



●課題

・各保守管理所に配置している携帯局を古いものから順次更新していく。



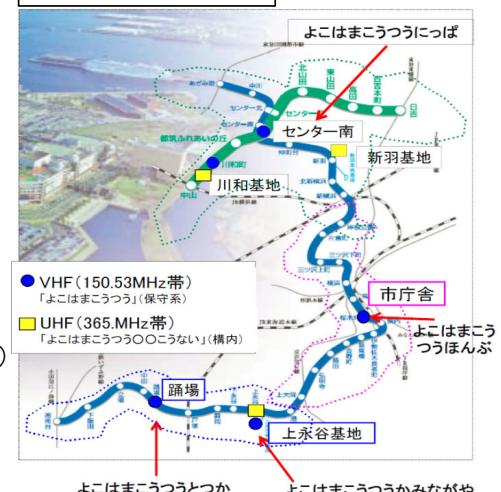
保守用無線電話装置更新 (予定)

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
更新内容	横浜交通本部 基地局	・上永谷基地局 ・新羽構内基地局	横浜交通 新羽基地局	・車載局8局	・車載局3局 ・携帯局7局	横浜交通携帯局 19局
合計	1局	2局	1局	8局	10局	19局

●現況数量

- ・基地局 4局 【市庁舎25W、踊場10W、センター南10W、上永谷基地5W】
- ・移動局106局 (車載9局 (上永谷3局、新羽4局、川和2局) 【25W、10W】
(携帯97局 (上永谷42局、新羽36局、川和16局、市庁舎3局) 【5W、1W】)

- 保守無線系統図
- (■ 構内無線系統図)



(2) 前年度から変更・見直しした点

- ・移動局数量減 (上永谷 車載1局廃止、川和 車載1局廃止)

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

電波法施行規則第2条
無線設備規則別表第3号

(4) 除却資産の有無)

(5) 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6) 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費		1,606				
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
52 光LAN用無停電電源装置更新	

(1 事業目的・内容)

光LAN装置は、列車無線、指令電話、自動案内放送などの音声データや、設備指令、ATOなどのデータを伝送する基幹光伝送路を構成する装置です。装置本体を設置してから10年以上が経過し、前回の鉛蓄電池の更新からも5年が経過します。

無停電電源装置の機器寿命は10年であり、来年度は機器寿命を超えてしまうことから、更新が必要です。

このため、光LAN用無停電電源装置本体6台の購入・更新、7台のバッテリ交換を行います。

光LAN用無停電電源装置 更新計画

単位:台

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
台数	3	6	6

【更新予定】

光LAN用無停電電源装置 本体

あざみ野駅	新羽車両基地
センター南駅	吉野町駅
新羽駅	弘明寺駅

光LAN用無停電電源装置 バッテリ

下永谷駅	中田駅
戸塚駅	立場駅
踊場駅	下飯田駅
	湘南台駅

(2 前年度から変更・見直しした点)

機器価格の高騰に伴う費用の増
更新計画表に基づく更新台数の増

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

通信設備更新計画

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有 光LAN用無停電電源装置
 無 2015-20-00353
 2016-20-00655～2016-20-00659

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	12,845					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
53 鉄道電話FAX子機更新	

(1 事業目的・内容)

鉄道電話FAXは、指令所・駅事務室・保守区に設置されており、他社線運行状況の連絡、振替輸送の連絡、工事や作業予定の連絡等に使用する重要な設備です。

また、各所に設置している一部のFAXについては、メーカー保守部品の供給期間が終了しており、故障発生時に修理が行えない状況です。今後、経年劣化により故障発生頻度が高まり、多数発生時にはFAXを使用できずに、お客様案内や地下鉄保守作業に支障する恐れがあります。

このため、更新計画に基づき、令和8年度は、10台の更新を行います。

上永谷電気区管内 全25台(内6台更新対象)

新羽電気区管内 全32台(内4台更新対象)

川和電気区管内 全14台(更新なし)

合計 全71台(内10台更新対象)

【内訳】

項目	単位	単価	数量	合計
FAX子機	台		10	
税(10%)	式		1	
計				

(2 前年度から変更・見直しした点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

所管電気区の要望
信号通信設備整備心得
通信設備更新計画

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有 ファクシミリ
 無 2013-20-00554～2013-20-00559
2014-20-00190 2014-20-00191
2015-20-00191

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	2,970					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
54 早期地震警報システム更新	

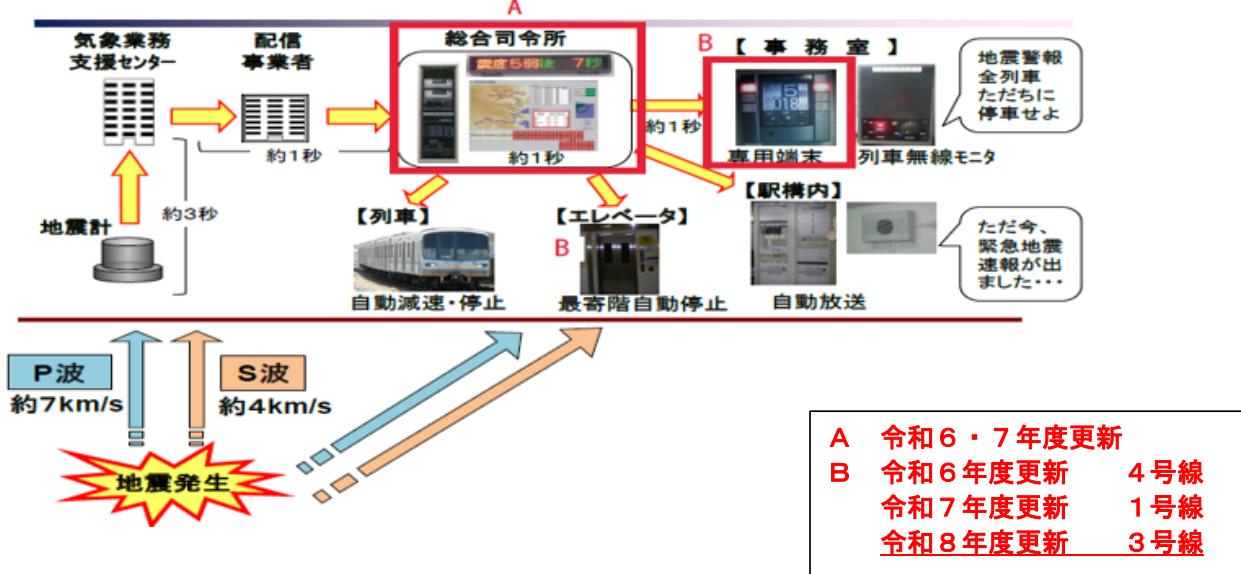
(1) 事業目的・内容

早期地震警報システムは、気象庁から発信される「緊急地震速報」を利用し、横浜市交通局も路線全域において被害が発生する前に列車に自動通報するものであり、沿線における被害の可能性を判断し、沿線で揺れる前に列車の停止措置等を行うことによる減災を図るものであります。

今まで早期地震警報システム受信端末が故障した際には、そのつど修理で対応してきましたが、ここ数年、経年劣化により故障頻度が上昇しているなかで、当該機種が令和5年に生産終了となり、修理対応もできない状況です。

令和8年度は、3号線の受信端末の更新を予定しており、これで更新計画はいったん完了となります。

早期地震警報システム 概要



(2) 前年度から変更・見直しした点)

中央装置作業費の減

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

電気区の要望
通信設備更新計画
信号通信設備整備心得

(4) 除却資産の有無)

■ 有	2006-20-00313	2012-20-00279～82
□ 無	2012-20-00236～40	2012-20-00295
	2012-20-00243～45	2012-20-00235
	2012-20-00247	2012-20-00238
	2012-20-00251～54	2015-20-00238
	2012-20-00270	2016-20-00204
		2007-20-03322

(5) 補助対象の有無)

□ 有
■ 無

(6) 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	21,729					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
55 誘導通信線ほか更新工事	

(1 事業目的・内容)

【誘導通信線更新】

誘導通信線は、安全の確保と円滑な運行管理をするために、司令所～列車間で情報を伝達するための通信用ケーブルです。

湘南台線は開業から27年経過しており、誘導通信線が劣化しています。地上部は特に劣化が激しく、ケーブルの被覆が破れている状態です。

このため、降雨時には絶縁抵抗が低下し、誘導雷による絶縁破壊や漏電により回線品質が劣化し、場合によっては司令所～列車間の通話ができなくなります。列車無線が使用できないと列車を運行させることができないため、予防保全としてケーブルを更新します。

【ケーブルラック更新】

ケーブルラックは、隧道内にケーブルを布設するための設備で、棚の上に信号ケーブルや通信ケーブルなどが布設されています。設置から数十年経過しており、塩害や老朽化により腐食箇所が多く、折損し脱落してしまう恐れがあります。脱落した箇所によっては、列車の脱線事故につながるリスクがあるため、予防保全としてケーブルラックを更新します。



【沿線電話ケーブル更新】

沿線電話は、災害時等に総合司令所との連絡を速やかにできるようにするための設備です。

沿線電話の設置は、省令により定められており、隧道内では250m以内の間隔で設ける必要があります。

沿線電話用のケーブルは設置から数十年経過しており、劣化している箇所が多いです。

ケーブルが損傷し、沿線電話が使用できないと、省令に基づく基準を満たすことができなくなるため、予防保全として沿線電話ケーブルを更新します。

(2 前年度から変更・見直しした点)

ケーブルラック更新を追加

沿線電話ケーブル更新を追加

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 11条、29条、60条、86条

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	24,640					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
56 1・3号線音声系ネットワークほか機器更新作業委託(横浜駅ほか)	126,030

(1) 事業目的・内容

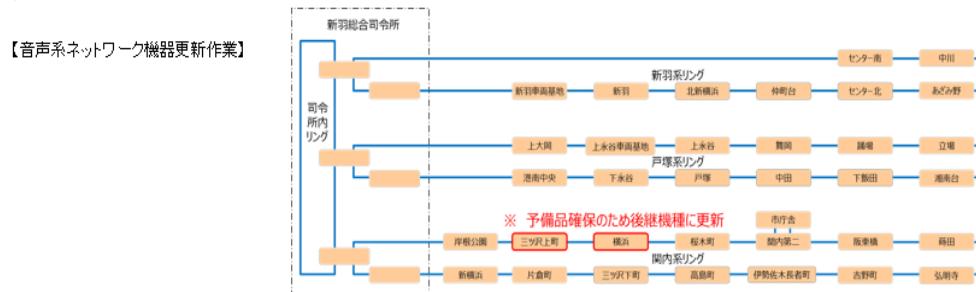
音声回線用の光LAN装置は、ブルーライン、グリーンライン、及び車両基地の全箇所に設置されていて、音声系光ネットワークを構築しています。これらは、列車運行に関する列車無線設備、総合司令所からの指令電話設備、鉄道電話設備、及びお客様案内放送等に使用されていて、安全運行とお客様サービスにおいて必要不可欠な設備です。

この音声系ネットワークを構成する光LAN装置の内、ブルーラインに設置のものは設計から10年が経過しており、メーカー保守部品の製造が終了しているため、故障が発生した場合は、長期間の動作停止となる場合があります。

以上の理由により、横浜駅・三ツ沢上町駅の光LAN装置を後継機種に更新し、撤去品を予備品として確保します。

また、YCANネットワークと総合設備ネットワークの誤接続が多発しており、その度に案内表示器やITVカメラ等の設備が停止し、お客様サービスや駅・司令所の業務に多大なる影響を及ぼしております。

以上の理由により、万が一誤接続が発生した場合でも案内表示器やITVカメラなどの設備が停止しないようにするため、総合設備ネットワークの設定変更を行います。



【総合設備ネットワーク設定変更作業】

現状: YCANと総合設備を誤接続した場合、総合設備が停止する。

変更後: YCANと総合設備を誤接続した場合でも総合設備は停止しない。



(2) 前年度から変更・見直しした点)

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信設備整備心得

(4) 除却資産の有無)

(5) 補助対象の有無)

光LAN装置	
<input checked="" type="checkbox"/> 有	2018-20-00355
<input type="checkbox"/> 無	2018-20-00357
	2009-20-00482～00486
	2009-20-00488～00492
	2009-20-00494～00506
	2009-20-00508
	2009-20-00518
	2009-20-00520
	2009-20-00528～00530
	2009-20-00558～00559
	2009-20-00632
	2010-20-00188
	2010-20-00191
	2010-20-00241

有
 無

(6) 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費		126,030				126,030
債務負担設定	126,030					126,030

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
57 非常時一斉通報装置ほか更新作業	

(1 事業目的・内容)

【目的】

非常災害時に地下鉄沿線の地震情報と連動して、ずい道内で作業している保守職員のPHSに地震発生や津波警報発令を自動通知する装置です。

【現状の課題】

現状システムサーバーが故障しています。前回更新から10年以上経過しサポートが切れているため、修理ができません。現在は、別システムの撤去品を直営で改修し仮設運用しています。サーバーが故障すると機能停止するため、早急なシステム更新が必要です。併せて、電気区保守職員が提案した電停止が遅延した場合に非常時一斉通報装置から保守職員に遅延連絡を通知する機能を新たに追加します。

また、新羽基地の出入区線ではPHSの電波感度が悪く、非常災害時の自動通知を受けることが困難なため、アンテナ増設も実施します。

非常時一斉通報装置（鉄電PHS方式）

○目的

非常時に、軌道内の作業員に、一斉に情報を提供する

○伝える情報



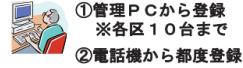
○発信者



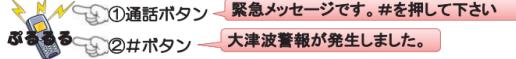
○受信場所



○PHS登録



○着信



○集計



(2 前年度から変更・見直しした点)

新規計画

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

地震・津波発生時の正確かつ迅速な情報提供

電気区の要望

信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有 非常時一斉通報装置
 無 2013-20-00779

2004-20-00340

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 課長名: 府馬 芳行・和田 伸一

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
58 光LAN用無停電電源装置バッテリ増設作業	

(1 事業目的・内容)

無停電電源装置は、停電などによって電力が断たれた場合にも、負荷に電力を供給し続ける電源装置です。

現在BLの各駅に設置されている無停電電源装置は、光LAN装置、ITV設備等に電源を供給しています。

今後、ITV設備の拡大やミリ波送信装置への電源供給も計画しているため、電源装置の負荷率が100%を超えてしまい、停電の際に十分な電力の供給が困難にならうため、BL全32駅に増設バッテリボックスを設置します。

令和8年度に16台、令和9年度に16台設置します。



(2 前年度から変更・見直しした点)

新規計画

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 上永谷保守管理所 課長名: 杉山 伸康

(単位:千円)			
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額	1,755	6,300 △	4,545

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
1 電気区計測器(ボルバル)の購入	
(1 事業目的・内容)	
電気区信号通信掛が踊場駅信号通信機器室に常備している計測器が故障したため、代替品を購入します。	
(2 前年度から変更・見直しした点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有
<input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
2 簡易型リフトの購入	
(1 事業目的・内容)	
府用車に重量物を積み降ろしする際の荷役装置を購入します。	
(2 前年度から変更・見直しした点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
新たな荷役装置の導入により、積み降ろし作業の負担軽減と労災事故防止に役立ちます。	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有
<input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 新羽保守管理所 課長名: 玉城 博之

(単位:千円)			
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額	4,773	2,200	2,573

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
1 電動自転車購入	
(1 事業目的・内容)	
現在新羽保守管理所は電動自転車3台あり、点検等で使う場合は各区に調整しておりますが災害が発生して緊急対応チームを派遣する時は、1班2人の2班が出動するため、計4台が必要となります。現在の台数では緊急チームが出動することができないため不足分1台を購入し緊急対応チームがいつでも出動出来るように備えます。	
(2 前年度から変更・見直しした点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有
<input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
2 検車区庁用車(キャンター)更新	
(1 事業目的・内容)	
脱線等緊急の事態が発生した場合検車区にある脱線復旧機材等の大きな機材も運べる庁用車が必要になります。それに加え近年は普通免許が取得しておらず、3.5t未満の自動車しか運転することが出来ない職員が増加している状況を考えまして、普通免許で運転出来かつ脱線復旧機材を運搬出来る庁用車に更新いたします。	
(2 前年度から変更・見直しした点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有
<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 川和保守管理所 課長名: 清水 一彦

(単位:千円)			
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額		5,410	

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
1 応急自動車における次世代自動車等の導入	
(1 事業目的・内容)	
川和保守管理所電気区の軽自動車を、HVの軽自動車に更新します。	
【応急自動車概要】	【更新後】
・車両名称 日産 ADバン	→ HV自動車
・乗車定員 5人	→ 5人
・初度検査年月 平成25年11月	
「横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)」では、貨物自動車は原則として次世代自動車等を導入することが示されています。また、一般公用車における次世代自動車等の導入割合を、2025年度において43%、2030年度において100%とすることが目標とされています。	
※次世代自動車等＝次世代自動車(電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自動車)及びハイブリッド自動車	
(2 前年度から変更・見直しした点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
「横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)」	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2013-20-00827)	<input type="checkbox"/> 有
<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

(単位:千円)			
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額	2,100,249	3,499,388	△ 1,399,139

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
1 早期運行再開のための耐震補強工事	398,197

(1 事業目的・内容)

阪神・淡路大震災以前に構築された構造物については、旧運輸省通達により、耐震補強としてラーメン高架橋・橋脚のRC柱、開削トンネルRC柱の補強及び橋りょうの落橋防止対策を平成7年～15年度に実施して完了しています。

平成25年度からは、首都圏で想定されている大規模地震が発生した際に、列車が早期に運行再開するための耐震補強を実施しています。

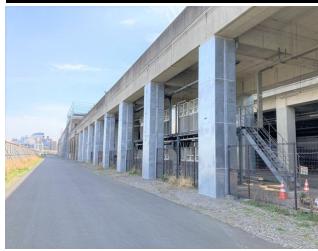
早期運行再開のための耐震補強

○事業区間 戸塚駅～あざみ野駅

○耐震補強対象構造物 【高架部】ラーメン高架橋、橋脚 【地下部】開削トンネル

- 耐震補強の進め方 ①耐震補強の必要性を判断 (H25年度に実施)
②耐震補強工事の詳細設計 (H25年度から随時実施)
③耐震補強工事の施工 (H27年度から随時実施)

	H25年度～H27年度	H28年度～R7年度	R8年度	R9年度以降
詳細設計				
工事	【高架部】ラーメン・橋脚			
	【地下部】開削トンネル			



(2 前年度から変更・見直しした点)

早期運行再開のための耐震補強工事は、経営状況及び補助金交付状況を考慮しながら引き続き事業を進めます。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

特定鉄道等施設に係る耐震補強に関する省令

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	588,450	398,197				
債務負担設定	984,584					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項:01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
2 構築補修工事	542,211

(1 事業目的・内容)

主に塩害による劣化した構造物において計画的に補修を行うため、構造物検査や日常点検の結果から選定した補修箇所について、補修方法を設計し、その後補修工事を行います。

併せて、コンクリート構造物の鉄筋腐食に対する予防保全として、腐食抑制効果のある表面含浸材の塗布工事を行います。



▲劣化状況



▲補修状況

※補修計画表

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度
■設計委託												
長者・阪東補修設計委託												
関内・長者補修設計委託												
長者町駅補修設計委託												
■表面含浸工事												
表面含浸材塗布工事												
■構築補修工事(集中補修)												
長者・阪東補修工事1												
長者・阪東補修工事2												
長者・阪東補修工事3												
関内・長者補修工事1												
関内・長者補修工事2												
関内・長者補修工事3												
■構築補修工事(局所補修)												
R6構築補修工事												
R7構築補修工事												
R10構築補修工事												
R13構築補修工事												
R15構築補修工事												
■構築補修工事(駅部)												
長者町駅補修工事												

(2 前年度から変更・見直しした点)

塩害区間の長期補修計画の見直しを行いました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	811,688	542,211				
債務負担設定	752,090					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

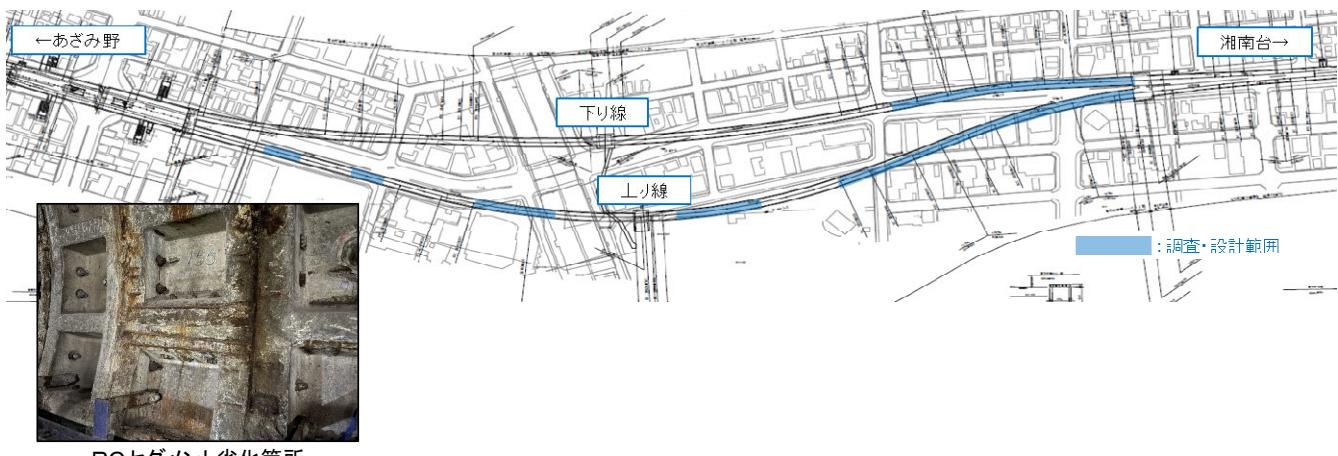
予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項:01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
3 宮元町シールドトンネル補修調査・設計委託	

(1 事業目的・内容)

宮元町シールドトンネルは、開業後50年以上経過しているため、シールドトンネルの経年劣化が進行しています。経年劣化が進行している箇所について、補修の必要性を判断するため調査を行い、補修が必要と判断された箇所の補修設計を行います。なお、令和2年度～令和7年度にかけて、宮元町シールドトンネル補修工事を施工していますが、本委託は既工事範囲外の未補修箇所の調査・設計を行います。



RCセグメント劣化箇所

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

上永谷施設区にて、本調査・設計範囲の劣化箇所の叩き落しを2年前より継続して実施している。

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	40,827					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項:01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
4 平沼町シールドトンネル補修・補強	0

(1) 事業目的・内容

高島町～横浜間の平沼町シールドトンネルは、昭和51年の開業から長期間経過しており、塩害及び経年による劣化・変形が見られるため、列車運行の安全性維持を目的として計画的に補修を行っています。下り線は先行して平成25年に調査・設計を行い、補修工事を平成27年度～令和元年度の期間で実施しました。

今後は下り線の未補修区間を優先的に対応し、同時に上り線の劣化状況を調査した後、結果に基づき補修及び補強の設計を行います。

	R1年度	～	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度以降
平沼町シールド 【下り線】	過年度工事						
	補修設計委託						
	補修工事						
平沼町シールド 【上り線】	補修設計委託						
	補修工事						

補修の方針

- ・トンネルの変形が進行し、早期に対応が必要な範囲を優先(下り線の優先範囲はR8～11で補修)
- ・上り線も同様の劣化が予測されるため、下り線過年度工事で実施した内容と同様の処置を予定
- ・上り線の補修設計でトンネルの変形の状況を調査し、優先的補修範囲を確定

(2) 前年度から変更・見直しした点

主幹課である施設課で総事業費を計上
労務費や物価高騰を加味し直して積算

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4) 除却資産の有無)

有
 無

(5) 補助対象の有無)

有
 無

(6) 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	28,000					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

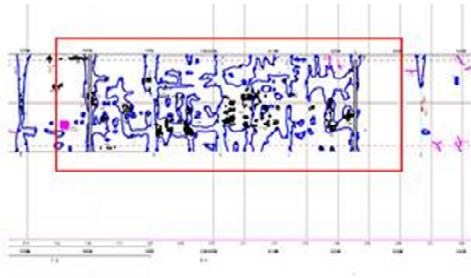
予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項:01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

(単位:千円)

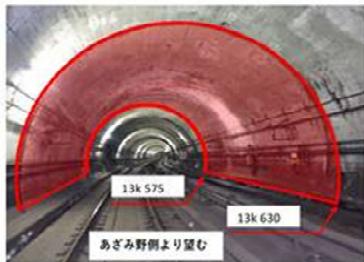
事業内容	8年度予算額
5 山岳トンネル補修工事	144,572

(1 事業目的・内容)

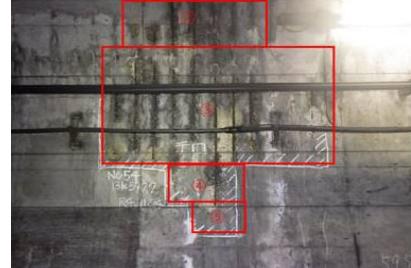
新羽～仲町台間の北の谷山岳トンネルは、開業後30年経過しており、コンクリートの浮き、ひび割れ等、経年劣化がみられるため、列車運行の安全性維持を目的として、補修を行います。



天井部



側壁部



(2 前年度から変更・見直しした点)

契約金額反映

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	138,317	144,572	313,843			596,732
債務負担設定	663,046					663,046

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項:01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

(単位:千円)

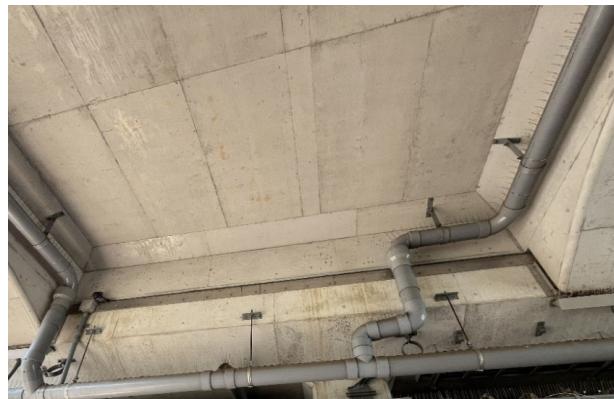
事業内容	8年度予算額
6 埃害対策工事	

(1 事業目的・内容)

当局施設物に留まる埃により、お客様や近隣住民への埃ファン被害が発生しているため、橋梁構造物等に埃除け設備(ネット、スパイク)を設置し、埃害対策を実施します。



埃除けネット対策



埃除けスパイク対策

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

設備区から来年度予算の要望あり

・新羽駅北側の既設埃害ネット一部はがれ

また、現在主に使用している埃除けネット(ポリエチレン製)は、メーカーにて耐久性の目安が10年程度とされていることから、設置から10年以上が経過したネットについて、損傷や脱落など劣化が認められる場合は更新を行います。

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	11,000					
債務負担設定	11,000					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項:01 建設改良費	所属: 施設課
目: 05 改良費	課長名: 鶴岡 正宏

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
7 局所有の排水管補修	

(1 事業目的・内容)

地下部の駅施設やポンプ室等から排出される汚水・排水は、ポンプにより地上へ送られ、高架部では樋を通じて地上へ導水・集水されたのち、歩道下や道路下に敷設された局所有の排水管により公共下水管へ排出されます。

この局所有排水管は開業時から定期的な点検調査や補修工事を行っていなかったため、令和元年度に高島町駅付近の局所有排水管で破損が発生し緊急補修したことを期に、令和2年度に一部の局所有排水管の調査を実施し「クラック」「管の継手ずれ」等の補修が必要な管を複数確認しました。そのため、令和4年度から管更生による補修を実施しています。

また、管更生が適用できない箇所は開削工法等での施工となるため、補修方法の検討について設計委託を行います。



施工前



施工後

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
令和7年度排水管補修概略設計委託					
令和7年度排水管補修工事					
令和8年度排水管補修詳細設計委託					
令和9年度排水管補修工事					
令和9年度排水管補修工事その2					
令和10年度排水管補修工事					

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	12,617					211,954
債務負担設定	18,470					148,470

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項:01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
8 トンネル坑口浸水対策	8,700

(1 事業目的・内容)

トンネル区間と高架区間の接続部にあるトンネル坑口は線路が地表面と同程度の高さとなります。その中で北新横浜及び青砥町の坑口部については大雨や河川氾濫などによる出水時に坑口からトンネル内への浸水の恐れがあることが確認されたため、現地の詳細な調査を行いました。調査結果を基に浸水対策の検討を行います。



北新横浜坑口部



青砥町坑口部

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	11,000	8,700				
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

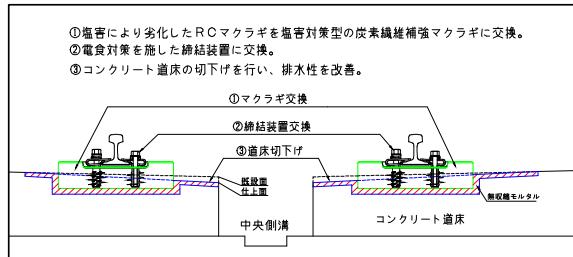
(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
9 関内・阪東橋間(下り)軌道改良及びその他工事	478,447

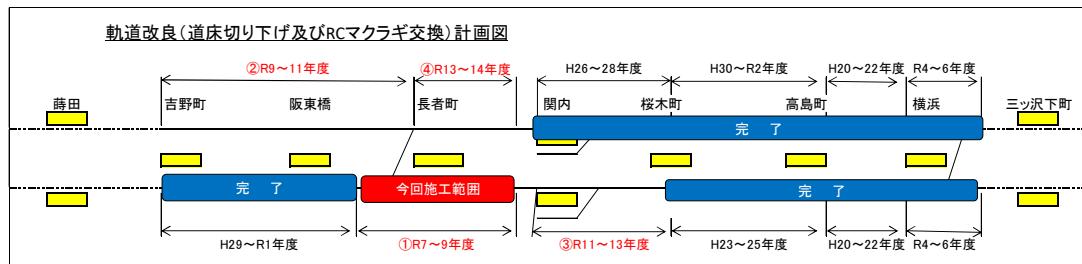
(1 事業目的・内容)

当該区間は海に近接しているため、漏水に含まれる塩分濃度が高く、塩害による鋼材の腐食により、レール、マクラギ、締結装置の損傷が著しく、列車走行の安全を確保することが困難な状況となっています。よって新しい軌道構造をもつ軌道への更新工事を行います。本工事は、令和7年度より工事に着手し、令和9年度に完成予定となっています。

(概要)軌道の防錆能力を向上させるため、マクラギ、締結装置を交換します。また、コンクリート道床の排水性を改善します。



(計画)本軌道改良事業は、塩害区間(横浜～吉野町間)の中で損傷の著しいか所を優先的に行っていきます。



(2 前年度から変更・見直しした点)

現在の軌道の劣化状況及び他工事との競合を回避するため、改良計画の見直しを行い、施工区間の変更を行いました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	224,000	478,447	342,446			1,044,893
債務負担設定	710,000					710,000

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項:01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
10 関内長者間急曲線軌道改良工事	

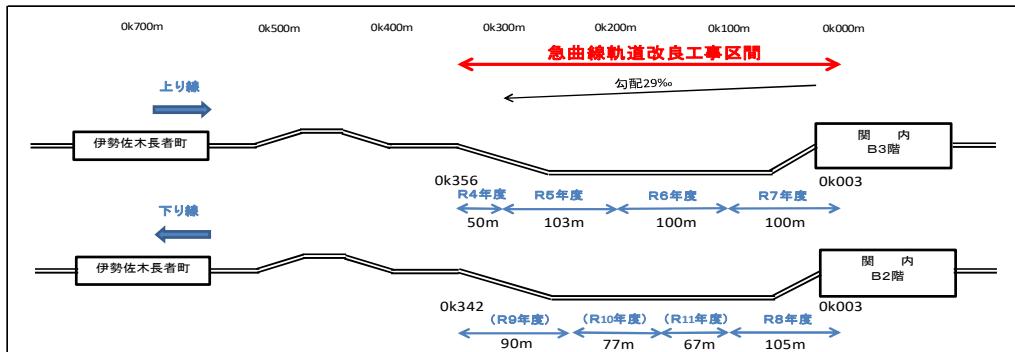
(1) 事業目的・内容

関内～伊勢佐木長者町駅間の曲線区間(R125)は急曲線であることや塩害部区間であることから、近年損傷が発生しており、保守作業に多くの労力を要しています。

安全性の向上及び保守作業の軽減を目的に、軌道部材の強化や防食等も含めた幅広い視点から実施した詳細設計をもとに検討した、軌道改良工事を実施します。



関内長者間急曲線軌道改良工事 計画表



事業費内訳									(千円)
	5年度以前	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	総額	
設計費	37,730	0	0	0	0	0	0	37,730	
材料費	27,290	18,560	37,773					157,085	
工事費	91,116	67,446	87,119					541,019	
合計	156,136	86,006	124,892					735,834	

(2) 前年度から変更・見直しした点)

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4) 除却資産の有無)

(5) 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6) 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	124,892					
債務負担設定	42,257					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項:01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
11 分岐器改良工事	103,853

(1 事業目的・内容)

上永谷36・37SC 8番シーサスクロッシングについて、敷設から31年が経過したため、交換計画(25年)に基づき交換を行います。
なお、あわせて振動・騒音対策として、クロッシングをマンガン製から溶接に適したレール製に改良します。

・上永谷構内36・37分岐器改良工事【令和7年度 契約済】

《交換計画(分岐器改良)》

駅名	分岐器No.	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
上永谷	36・37SC				
		交 (262,766)	換 (103,853)		
新横浜	22				
	21イ				

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	262,766	103,853				628,288
債務負担設定	103,853					347,427

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項:01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
12 継目部改良工事	

(1 事業目的・内容)

軌道は、1本25mのレールを継目板によって繋ぎ合わせており、繋ぎ目の部分をレール継目部といいます。

継目部は、列車の通過による衝撃により継目板の切損や継目落ちが発生し、これが増大すると列車の上下動が大きくなるため、軌道破壊につながり、安全な列車の運行ができなくなります。また、継目落ちによる振動・騒音が発生しているため、常に直営又は外注工事にて保守対応を行っています。

本工事は、継目部のまくらぎを継目落ち対策用のまくらぎに交換するもので、平成25年度から絶縁継目部のまくらぎを合成井桁まくらぎに交換する改良を行ってきました。来年度以降は、普通継目部のまくらぎをPCラダーまくらぎに交換していく改良を併せて行います。

来年度は、現場調査の結果から優先的に行うべきと判断された絶縁継目部1箇所、普通継目部1箇所の改良を行います。



レール継目落ち



合成井桁まくらぎ



PCラダーまくらぎ

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	21,888					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項:01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
13 軌道モニタリングシステム	0

(1 事業目的・内容)

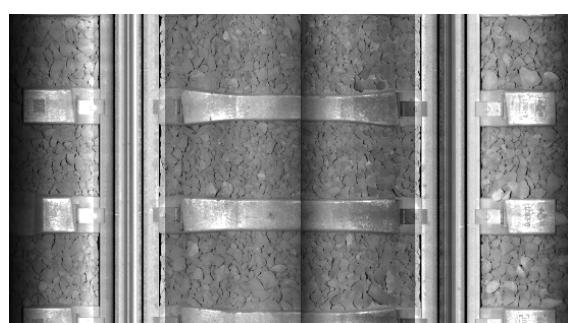
軌道モニタリングシステムとは、営業車両や保守用車両に、カメラや軌道検測装置等を搭載して走行することで、材料及び変位の検査を行い、変状を自動で検知するシステムです。

軌道モニタリングシステムの導入については、令和5・6年度の検討により、現状の検査業務における課題や、今後想定される直當保守作業増加に対応していくために、とても有効であることがわかりました。

更新時期が近い軌道検測車の代替として導入することで、既存の軌道検測車の機能に加え、カメラによる検査が可能になり、巡回や検査業務の効率化を図ります。軌道検測車の更新時期である令和10年度の導入を目標に、令和8年度に契約を締結し、製作を開始します。



軌道検測車



赤外線カメラ画像

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項:01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
14 工事用車両更新	0

(1 事業目的・内容)

施設区で所有する工事用車両について、更新計画に基づき使用年数が20年を超える車両から順次更新します。

工事用車両更新計画

車番	仕様	所管場所	使用年数	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度	R13 年度	R14 年度	R15 年度
C-5(15t)	15t・クレーン付	新羽	19 年	契約	→更新						
C-7(15t)	15t・クレーン付	上永谷	15 年		契約	→更新					
C-8(20t)	20t・クレーン付・発電機付	上永谷	14 年				契約	→更新			
C-9(15t)	15t・クレーン付	新羽	13 年						契約	→更新	
C-10(20t)	20t・クレーン付・発電機付	新羽	9 年								
C-11(20t)	20t・クレーン付・発電機付	上永谷	9 年								
C-12(20t)	20t・クレーン付・発電機付	上永谷	5 年								
C-13(20t)	20t・クレーン付・発電機付	上永谷	5 年								
A-9	8t	川和	15 年				契約	→更新			
C-6(15t)	15t・クレーン付	川和	19 年		契約	→更新					

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	63,000					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項:01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
15 軌道管理システムサーバー移設業務	

(1 事業目的・内容)

軌道管理システムのサーバー機の稼働環境が、令和8年度にMicrosoftの延長サポートが終了します。
その為新しいサーバー機とライセンスを購入し、軌道管理システムの環境を構築しデータを移設します。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
16 川和保守管理所昇降階段設置工事	

(1 事業目的・内容)

川和保守管理所の転削線には、6両編成停止位置に昇降階段が設置されていないため、これを設置する工事を行います。



左:転削線4両編成停止位置 右:同6両編成停止位置

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項:01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
17 車両基地侵入防止対策システム	

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地では、令和元年度から同2年度にかけ「車両基地侵入防止対策システム」を構築し、運用しています。

令和8年度は、本システムを川和車両基地・新羽車両基地へ展開します。

また、総合司令所に設置している機器を更新します。

(2 前年度から変更・見直した点)

前年度は「上永谷車両基地侵入防止対策システム更新」及び「川和車両基地セキュリティーカメラ購入」として計上していたが、新羽車両基地を含めた「車両基地侵入防止対策システム」を拡張する方針となった。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	8,130					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項:01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

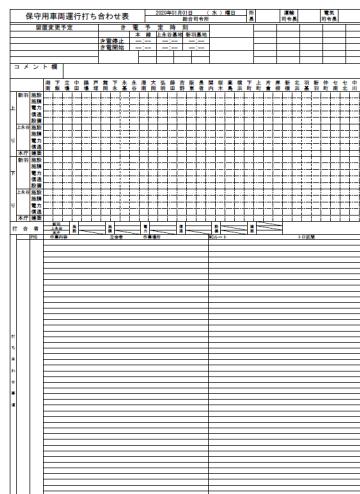
(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
18 作業管理システム構築	71,225

(1 事業目的・内容)

現行の線閉登録システムは、保守作業実行間合の作業(以下、夜間作業と言う)を管理するために職員がインターネット上で構築したアプリケーションで、交通局職員のみ使用可能です。現行システムの課題である、継続的なアプリケーション保守管理、ハードウェア管理、夜間作業と夜間作業以外の作業の運用業務の改善を行うために、クラウドシステム(作業管理システム)の構築、機能検証及び試験運用を行います。

【線閉登録システム(帳票)】



(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道線路閉鎖取扱規程への適用
保守用車両使用要領への適用

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費		71,225				71,225
債務負担設定	60,500					60,500

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

	(単位:千円)		
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額	3,686,477	3,496,620	189,857

【事業内容】		(単位:千円)
1 上永谷駅改良工事		8年度予算額

(1 事業目的・内容)

上永谷駅は、「市営交通 中期経営計画2023-2026」の中で、まちの玄関口である駅のリニューアルを進めるとしています。本事業では、施設の老朽化対策や各設備の更新に合わせ駅全体を一体的にリニューアルします。コンコース、ホーム、駅務施設、乗務施設等の改修を行い、お客様への快適な駅空間の提供や職員の勤務環境の改善を図ります。

工種	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
基本計画								
基本設計								
実施設計								
工事(建築、電気、機械、土木)								

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	131,010					
債務負担設定	125,873					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

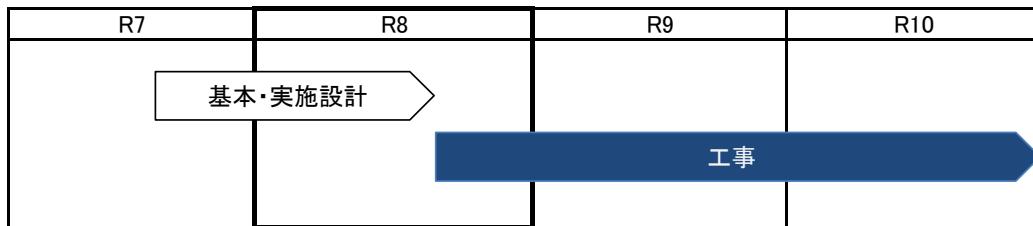
予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
2 三ツ沢下町駅改良工事	

(1 事業目的・内容)

三ツ沢下町駅は開業から約40年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいます。また、女性職員用施設の整備が必要です。本工事では、駅機能を保ちながら、駅のイメージアップ、職員の勤務環境の向上及び老朽化した機械設備の抜本的な更新を目的とした駅改良工事を行います。



(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	14,988					
債務負担設定	34,974					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

事業内容	8年度予算額
3 新羽駅改良工事	

(1 事業目的・内容)

新羽駅は女性職員用の設備の不足や、旅客用トイレ等の老朽化が課題です。

本事業では、旅客用トイレや乗務管理所施設等の改修を行い、駅利用者へ快適な駅空間の提供と職員の執務環境の改善を図ります。



(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						1,335,339
債務負担設定						975,327

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

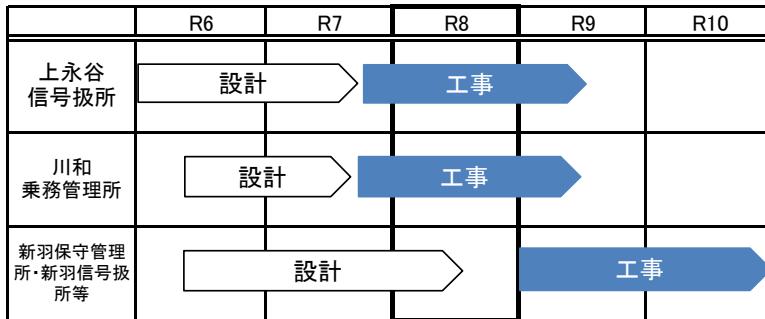
(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
4 職員用施設改修工事	518,102

(1 事業目的・内容)

乗務管理所等において、職員用施設整備計画に基づき、女性職員用施設(仮眠室、手洗所、ロッカー室、シャワー室等)の整備をはじめとした職員用施設の改修工事を行います。

令和8年度は、新羽保守管理所、新羽信号扱所等において工事に着手します。



(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	460,296	518,102	583,867			1,562,265
債務負担設定	690,445					690,445

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
5 ブルーラインホーム改良工事	

(1 事業目的・内容)

現在、ブルーラインはプラットホームと車両床面との間に段差・隙間があり、車椅子利用等のお客様がご乗車される際は、駅職員の介助が必要となっています。

令和元年10月にバリアフリー整備ガイドラインが改正され、段差・隙間の目安値が示されたことで、全国的に段差・隙間縮小に向けた動きが活発化しており、当局では令和8年度までにブルーライン32駅(各番線1号車1番扉・6号車3番扉)の段差・隙間縮小工事を実施することとしています。



新横浜駅施工状況(R4施工)

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	115,294					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
6 ガラス垂れ壁改修工事	76,738

(1 事業目的・内容)

令和3年6月に発生した蒔田駅ホーム天井部の防煙垂れ壁の落下を受け、当該垂れ壁の設置方法を見直す必要があることから、全面改修を行います。また、ホーム部に同様のガラス製垂れ壁が設置されている4駅(横浜駅、戸塚駅、立場駅、吉野町駅)のうち、横浜駅、戸塚駅、立場駅の補強工事を行います。

なお、吉野町駅については、現在、軌道内対向壁解体工事に伴い仮設列車誘導無線が垂れ壁近接部に設置されているため、当該無線の撤去時期にあわせて補強工事を行います。

駅名	R5	R6	R7	R8	R9	R10
対象5駅		調査・設計				
蒔田駅			改修工事	改修工事		
横浜駅 戸塚駅 立場駅			補強工事	補強工事		
吉野町駅					補強工事	

【注釈】

防煙垂れ壁……火災時に発生する煙の拡散を抑制し、避難時間を確保するための設備

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	50,031	76,738				
債務負担設定	75,048					75,048

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
7 屋上防水更新工事	

(1 事業目的・内容)

近年、保守用施設の漏水発生件数が増加しています。保守用施設における漏水の発生により、施設内の機器の故障や、運行に必要な保守点検業務に影響が出ている状態です。施設の長寿命化に加え、保守点検業務に支障が生じないよう、計画的な屋上防水の更新を進めます。

実施場所(内容)	R6	R7	R8	R9
新羽保守管理所(検車庫・事務所棟 屋上防水)	設計	工事	工事	
上永谷保守管理所(検修庫・修繕工場 屋上防水ほか)		設計	工事	工事

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	302,382					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
8 屋上防水更新工事(設計)	0

(1 事業目的・内容)

交通局施設(駅舎及び地下鉄施設)については、各施設毎の耐用年数等に基づき計画的な改修を行うことが必要となります。特に駅出入口や変電所等施設については、施設を利用するお客様へのサービス水準の維持や、列車運行に関わる重要設備(変電機器等)への影響を未然に防ぐことが求められます。

令和8年度については、耐用年数や各種定期点検の結果を踏まえ、三ツ沢変電所及び港南中央駅出入口の屋上・屋根について、防水改修工事に伴う設計委託を行います。

○事業スケジュール

実施場所	R8	R9	R10以降
三ツ沢変電所	設計	工事	
港南中央駅(各出入口)	設計	工事	

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	18,525					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
9 建具等更新その他工事(シャッター駆動装置更新等も含む)	

(1 事業目的・内容)

建具更新工事は、各駅その他施設に設置している扉や窓について、腐食の進行や老朽化により、修理対応では調整が不可能となった箇所の更新を行うものです。

また、駅構内に設置している防煙・防火及び管理シャッターについて、更新が必要な不具合が見られる開閉機(モーターを含む駆動に係る装置一式)の更新工事を行います。また、建築基準法施行令の改正により、危害防止機構の設置が義務付けられましたので、合わせて新設、更新を行います。

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	38,412					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
10 軌道内対向壁解体工事(設計)	3,267

(1 事業目的・内容)

一・二次開業駅(上永谷駅～横浜駅)の塩害区間のうち老朽化が進んでいる駅において、対向壁のリニューアルに向けて計画的に解体を行います。令和8年度は、引き続き桜木町駅の対向壁解体の設計を行います。



※1 改良工事にて実施

※2 構築補修工事にて実施

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	1,049	3,267				4,316
債務負担設定	2,449					2,449

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
11 新羽駅対向壁改修工事	

(1 事業目的・内容)

新羽駅ではホーム向かいに設置されている対向壁に劣化がみられるため、耐久性を高める改修を行います。
また、ホーム上屋から結露による水滴が滴下しお客様に影響が出ているため、結露対策を実施するとともに
鉄部の塗替えも行います。

	R6	R7	R8
新羽駅 ホーム階	R5～R6 設計		
新羽駅 ホーム階			R7～R8 工事

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
12 駅諸室改修その他工事	

(1 事業目的・内容)

ブルーライン及びグリーンラインで発生している不具合について、建築修繕工事で対応できない規模の内容を工事発注により対応します。

【令和8年度】

工事: 都筑ふれあいの丘駅(駅務諸室改修)、あざみ野駅(案内所改修)、高田駅(止水板更新)、上永谷車両基地(詰所移転)ほか
設計: センター北駅(職員施設改修)ほか

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
13 サインマニュアル作成	6,050

(1 事業目的・内容)

平成25年度に策定した「横浜市営地下鉄 サインシステム・マニュアル」について、これまでの改良工事等をとおして蓄積された課題等を踏まえ、改訂業務を行います。

	R7	R8
サインマニュアル改訂		R7～R8

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	10,675	6,050				16,725
債務負担設定	24,909					24,909

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
14 関内駅漏水対策工事	

(1 事業目的・内容)

関内駅では、コンコースやホーム、職員用施設など天井からの漏水が多数発生しており、お客様に多大なご迷惑をおかけしている状態です。

また、漏水箇所には仮の受樋を設置するなど、応急処置を施していますが、現状のままでは天井内の下地や機械設備、電気設備の不具合・腐食が発生するため、恒久的な処置として天井内での漏水対策が必要です。

令和8年度は、引き続き漏水受樋の設置工事及び解体天井材の復旧工事を行います。

令和7年度:工事着手

令和8年度:工事完了(予定)



(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
15 駅浴室改修工事	

(1 事業目的・内容)

横浜駅は開業から50年以上経過し、施設の各所が老朽化しています。
特に職員用の浴室及び脱衣室は長年の使用と温気により著しい劣化が生じているため、令和5年度の実施設計を基に、
浴室のシャワーユニットへの改修及び脱衣室の改修、これらに伴う設備の改修工事を行います。



横浜駅 浴室(左)及び脱衣室(右)の現況

R5	R6	R7	R8
設計			工事

(2 前年度から変更・見直した点)

令和6年度に契約した工事が打切となり、事業スケジュールを見直したため。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
16 エスカレーターのリニューアル	

(1 事業目的・内容)

お客様に安全かつ快適な設備をご利用していただき続けていくため、設置後長期間(30年)経過したブルーラインのエスカレーターを計画的に更新・リニューアルを実施します。

現在、ブルーラインのエスカレーターは、経年劣化によって機能が低下し、老朽化している状況です。機能維持に要する保守部品の確保も困難になることが予想されるため、各駅各機種に応じた設備機能の改善とバリアフリー対応機能を付加したエスカレーターへのリニューアルを実施し、安全性や快適性・省エネ性を向上させます。

エスカレーターリニューアル計画

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	工事	三ツ沢上町(4台)	三ツ沢上町(4台)
		片倉町(1台)	片倉町(4台)

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

■ 有 1984-20-00133
 □ 無 1984-20-00121
 1984-20-00122
 1984-20-00126
 1984-20-00127

(5 補助対象の有無)

□ 有
 ■ 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	331,386					
債務負担設定	437,019					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
17 エレベーターリニューアル	

(1 事業目的・内容)

お客様に、より安全・安心かつ快適な設備をご利用いただき続けていくため、改正されている建築基準法の適合化を含め、計画的なエレベーターの更新を行います。

■エレベーターリニューアル計画

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
中川(3基)	工事			
桜木町(1基)	工事			
北新横浜(1基)		工事		
下飯田(1基)	設計		工事	
立場(1基)	設計			工事
踊場(油圧式1基)	設計		工事	
踊場(ロープ式2基)		設計		

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有 1992-20-00327
 無

(5 補助対象の有無)

有 JRA事業補助
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	134,669					
債務負担設定	46,310					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
18 エレベーターリニューアル(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下鉄各駅及び車両基地には、換気空調設備・給排水消防設備・昇降機設備の運転・故障状況の管理監視また各設備の計画的なエレベーターの更新を行います。

■エレベーターリニューアル計画

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
中川(3基)	工事			
桜木町(1基)	工事			
北新横浜(1基)		工事		
下飯田(1基)	設計		工事	
立場(1基)	設計			工事
踊場(油圧式1基)	設計		工事	
踊場(ロープ式2基)		設計		

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	7,997					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
19 動力監視盤改修工事	

(1 事業目的・内容)

地下鉄各駅及び車両基地には、換気空調設備・給排水消防設備・昇降機設備の運転・故障状況の管理監視また各設備のスケジュール自動運転を行うための、動力監視盤を設置しています。特に平成11年8月に開業した湘南台線各駅等に設置した監視盤では、稼働年数の経過による劣化が進行しており、部品供給も困難となるなど、復旧に遅れが生じ、監視機能を維持できなくなる可能性があります。この状態を放置し、監視盤が起動しなくなった場合、特にエレベーター・エスカレーター監視や空調スケジュール運転ができないなど、駅業務等に多大な支障を及ぼすため、計画的な更新を行います。

また、改修工事に合わせて、新羽車両基地から駅換気送風機等の遠方操作(効率管理)を行うため、遠隔システムを整備します。

実施駅 (予定)	R7	R8 (予定)	R9 (予定)	R10 (予定)
舞岡				□設計
下永谷				□設計
桜木町			□設計	●工事
あざみ野	□設計	●工事	●工事	
新羽車両基地	●工事			
川和町			□設計	●工事
都筑ふれあいの丘		□設計	●工事	
北山田	□設計	●工事		
東山田	□設計	●工事		
高田	●工事			
日吉本町	●工事			
日吉		□設計	●工事	

◎遠隔システムの整備

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	84,913					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
20 動力監視盤改修工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下鉄各駅及び車両基地には、換気空調設備・給排水消防設備・昇降機設備の運転・故障状況の管理監視また各設備のスケジュール自動運転を行うための、動力監視盤を設置しています。特に平成11年8月に開業した湘南台線各駅等に設置した監視盤では、稼働年数の経過による劣化が進行しており、部品供給も困難となるなど、復旧に遅れが生じ、監視機能を維持できなくなる可能性があります。この状態を放置し、監視盤が起動しなくなった場合、特にエレベーター・エスカレーター監視や空調スケジュール運転ができないなど、駅業務等に多大な支障を及ぼすため、計画的な更新を行います。

また、改修工事に合わせて、新羽車両基地から駅換気送風機等の遠方操作(効率管理)を行うため、遠隔システムを整備します。

実施駅 (予定)	R7	R8 (予定)	R9 (予定)	R10 (予定)
舞岡				□設計
下永谷				□設計
桜木町			□設計	●工事
あざみ野	□設計	●工事	●工事	
新羽車両基地	●工事			
川和町			□設計	●工事
都筑ふれあいの丘		□設計	●工事	
北山田	□設計	●工事		
東山田	□設計	●工事		
高田	●工事			
日吉本町	●工事			
日吉		□設計	●工事	

◎遠隔システムの整備

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	2,816					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
21 排水ポンプほか更新工事	

(1) 事業目的・内容)

駅には、給水用、汚水用、中水(トイレ洗浄)用、またトンネル勾配に合わせ設置する排水(湧水)用ポンプがあります。排水ポンプの突発的な故障は、湧水の排出ができなくなり列車の運行に支障を来すおそれがあります。また給水、汚水、中水ポンプの故障により、駅機能が低下(主にトイレの使用不可)してしまいます。そのような事態を発生させないために、各ポンプ本体の状態と、設置年数を考慮し、計画的にポンプの更新を行います。

場所	対象機器	令和7年度	令和8年度	令和9年度
新横浜駅	③④⑤	工事		
新横浜第2中間	①⑤	工事		
鶴見川第1・第2	①⑤	工事		
長島中間	①⑤	工事		
吉田町中間	⑤	工事		
矢沢中間	①	工事	工事	
舞岡駅	②④	工事	工事	
踊場駅	②	工事	工事	
戸塚駅	②③	工事	工事	
港南中央駅	②⑤	設計	工事	工事
関の下中間	①⑤	設計	工事	工事
最戸橋中間	①⑤	設計	工事	工事
弘明寺駅	①②⑤	設計	工事	工事
和泉町中間	①⑤	設計	工事	工事
上永谷検車区	③⑤	設計	工事	工事
中山攪拌機	④	設計	工事	工事

(1):排水ポンプ、(2):汚水ポンプ、(3):中水ポンプ、(4):攪拌機、(5):制御盤

(2) 前年度から変更・見直しした点)

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4) 除却資産の有無)

(5) 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6) 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	275,800					
債務負担設定	199,200					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
22 排水ポンプほか更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

駅には、給水用、汚水用、中水(トイレ洗浄)用、またトンネル勾配に合わせ設置する排水(湧水)用ポンプがあります。排水ポンプの突発的な故障は、湧水の排出ができなくなり列車の運行に支障を来すおそれがあります。また給水、汚水、中水ポンプの故障により、駅機能が低下(主にトイレの使用不可)してしまいます。そのような事態を発生させないために、各ポンプ本体の状態と、設置年数を考慮し、計画的にポンプの更新を行います。

場所	対象機器	令和7年度	令和8年度	令和9年度
矢沢中間	①	工事	工事	
舞岡駅	②④	工事	工事	
踊場駅	②	工事	工事	
戸塚駅	②③	工事	工事	
港南中央駅	②⑤	設計	設計	工事
関の下中間	①⑤	設計	設計	工事
最戸橋中間	①⑤	設計	設計	工事
弘明寺駅	①②⑤	設計	設計	工事
和泉町中間	①⑤	設計	設計	工事
上永谷検車区	③⑤	設計	設計	工事
中山攪拌機	④	設計	設計	工事
与七橋中間	①		設計	設計
通町中間	①		設計	設計
蒔田駅	①④⑤		設計	設計
吉野町駅	②④		設計	設計
湘南台駅(制御盤)	⑤		設計	設計
広町(制御盤)	⑤		設計	設計

(1):排水ポンプ、(2):汚水ポンプ、(3):中水ポンプ、(4):攪拌機、(5):制御盤

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	2,618					
債務負担設定	3,927					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
23 排水メーター更新	

(1 事業目的・内容)

駅及び中間ポンプ所の各ポンプ(中水(トイレ洗浄)、排水(湧水)ポンプ)には正確な送水量を計測するため、排水メーター(電磁式積算流量計)が設置されています(※河川放流を除く)。排水メーターは計量法により、8年ごとの交換が定められています。法令順守および正確な送水量を計測するため、計画的な交換を行います。

■ 排水メーター更新予定

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施工場所	港南区庁舎ほか 3か所 9個	三ツ沢下町駅ほか 4か所 9個	阪東駅ほか 3か所 7個

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	8,580					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
24 防災設備更新工事(連結送水管)	

(1 事業目的・内容)

地下鉄駅舎間のトンネル内には、火災の発生時に消火活動を行うため、駅間において500mを超える場合に連結送水管が設置されていますが、トンネル内の漏水や経年劣化により配管の損傷が著しい状況です。
よって、防災設備の機能維持のため更新工事を行います。

場所名	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
横浜駅から沢渡中間ポンプ場間	工事	工事		
笹下変電所から日野ずい道間	設計	設計／工事	工事	
上大岡駅から弘明寺駅間		設計	設計	

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	89,553					
債務負担設定	134,330					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
25 防災設備更新工事(連結送水管)(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下鉄駅舎間のトンネル内には、火災の発生時に消火活動を行うため、駅間において500mを超える場合に連結送水管が設置されていますが、トンネル内の漏水や経年劣化により配管の損傷が著しい状況です。
よって、防災設備の機能維持のため更新工事を行います。

場所名	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
横浜駅から沢渡中間ポンプ場間	工事	工事		
笹下変電所から日野ずい道間	設計	設計／工事	工事	
上大岡駅から弘明寺駅間		設計	設計	

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	1,821					
債務負担設定	4,251					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
26 ずい道換気送風機更新工事	

(1 事業目的・内容)

ずい道換気送風機は、ずい道(トンネル)内に滞留する列車排熱や粉じん等の除去など地下空間の環境を維持するほか、列車火災発生時には排煙設備として、屋外に煙を排出するための設備です。

本設備は、昭和50年のブルーライン横浜・上永谷延伸以降の駅間の換気設備として、9か所の中間換気所とトンネルに接続される25駅に設備され、現在、羽根車やケーシング等本体の腐食、またモーター及び軸受けの消耗により絶縁が低下傾向にあるなど老朽化が進んでいます。

良好な地下空間の環境を維持し確実な排煙機能を確保するため、ずい道換気送風機の更新工事を行います。

		R6	R7	R8	備考
設 計	対象	岸根中間	片倉町駅	篠原中間	
	台数・総出力	4台・148 kW	4台・240 kW	4台・220 kW	
工 事	対象	横浜駅	岸根中間(R7-R8)	片倉町駅	
	更新内容	部分更新	部分更新	部分更新	

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	73,392					
債務負担設定	110,088					110,088

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
27 ずい道換気送風機更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

ずい道換気送風機は、ずい道(トンネル)内に滞留する列車排熱や粉じん等の除去など地下空間の環境を維持するほか、列車火災発生時には排煙設備として、屋外に煙を排出するための設備です。

本設備は、昭和50年のブルーライン横浜・上永谷延伸以降の駅間の換気設備として、9か所の中間換気所とトンネルに接続される25駅に設備され、現在、羽根車やケーシング等本体の腐食、またモーター及び軸受けの消耗により絶縁が低下傾向にあるなど老朽化が進んでいます。

良好な地下空間の環境を維持し確実な排煙機能を確保するため、ずい道換気送風機の更新工事に係る改修設計を行います。

		R6	R7	R8	備考
設 計	対象	岸根中間	片倉町駅	篠原中間	
	台数・総出力	4台・148 kW	4台・240 kW	4台・220 kW	
工 事	対象	横浜駅	岸根中間(R7-R8)	片倉町駅	
	更新内容	部分更新	部分更新	部分更新	

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事 業 費	12,705					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
28 エアフィルター更新工事	

(1 事業目的・内容)

地下駅には、良好な駅環境を維持するため、外気取り入れ口にエアフィルター設備を設置しています。エアフィルター設備は、設置から長期間、使用しつづけ、著しい汚れの付着による目詰まりが頻繁に発生し、捕集した粉じん等を取り除く真空掃除機に負荷が掛かりモーター不良や捕集口の脱落故障につながり、都度修理を重ねている状況です。現在、低下してきている捕集性能を改善し、良好な駅環境を維持するため、エアフィルターの更新工事を行います。

		R6	R7	R8	備考
設 計	1号線	—	吉野町駅	蒔田駅	
	3号線	—	高島町駅・横浜駅	関内駅・新横浜駅	
工 事	1号線	湘南台駅、矢沢中間	—	吉野町駅 (R8・R9)	
	3号線	—	—	高島町駅・横浜駅	

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事 業 費						
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
29 エアフィルター更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下駅には、良好な駅環境を維持するため、外気取り入れ口にエアフィルター設備を設置しています。エアフィルター設備は、設置から長期間、使用しつづけ、著しい汚れの付着による目詰まりが頻繁に発生し、捕集した粉じん等を取り除く真空掃除機に負荷が掛かりモーター不良や捕集口の脱落故障につながり、都度修理を重ねている状況です。現在、低下してきている捕集性能を改善し、良好な駅環境を維持するため、エアフィルターの更新工事に係る改修設計を行います。

		R6	R7	R8	備考
設 計	1号線	—	吉野町駅	蒔田駅	
	3号線	—	高島町駅・横浜駅	関内駅・新横浜駅	
工 事	1号線	湘南台駅、矢沢中間	—	吉野町駅 (R8・R9)	
	3号線	—	—	高島町駅・横浜駅	

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事 業 費	4,950					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
30 空調機更新工事	

(1) 事業目的・内容)

駅などの空調は、事務室・仮眠室・券売機室・電気諸室及びホーム(駅冷房)といった使用用途によってゾーニングしており、各系統ごと施設の規模や特性に見合う空調方式にて冷暖房装置を設置しています。

各駅・関連施設の空調機は、設置から15年以上経過し、冷暖房能力が低下している機器が点在している状況です。また、各空調機に使用されている冷媒ガスは、オゾン層を破壊しないものの、温室効果が高い代替フロンであり、フロン排出規制法など、冷媒に対する規制が強化がされるなか、より環境負荷の低いフロンへの転換が求められています。

空調機の老朽化に伴う装置の停止によるお客様サービスの低下を防ぐため、施設単位での計画的な更新工事を行います。

年式	R6	R7	R8	R9
新羽車両基地(データ集計室、会議室)	H5 工事			
三ツ沢下町駅	H14 工事			
三ツ沢上町駅、岸根公園駅	H15・H15 工事			
舞岡駅、高島町駅	H14・H16 工事			
高田駅		設計	工事	
【駅冷房】湘南台駅		設計	工事	
【駅冷房】横浜駅		設計	工事	
吉野町駅、センター北駅(換気改修)※R8工事	H16		設計	工事
上永谷修繕工場	H16		設計	
川和車両基地(検修区・検修庫)	H19			設計
新羽車両基地(検車庫)				設計
	H17 4 新羽駅改良工事 6 職員用施設改修工事	港南中央駅 R2 R3 H7 H19	新羽駅・乗務管理所(～R12) 上永谷信号扱所 新羽保守管理所 川和町駅・乗務管理所	

(2) 前年度から変更・見直しした点)

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4) 除却資産の有無)

(5) 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6) 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	367,131					
債務負担設定	287,628					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

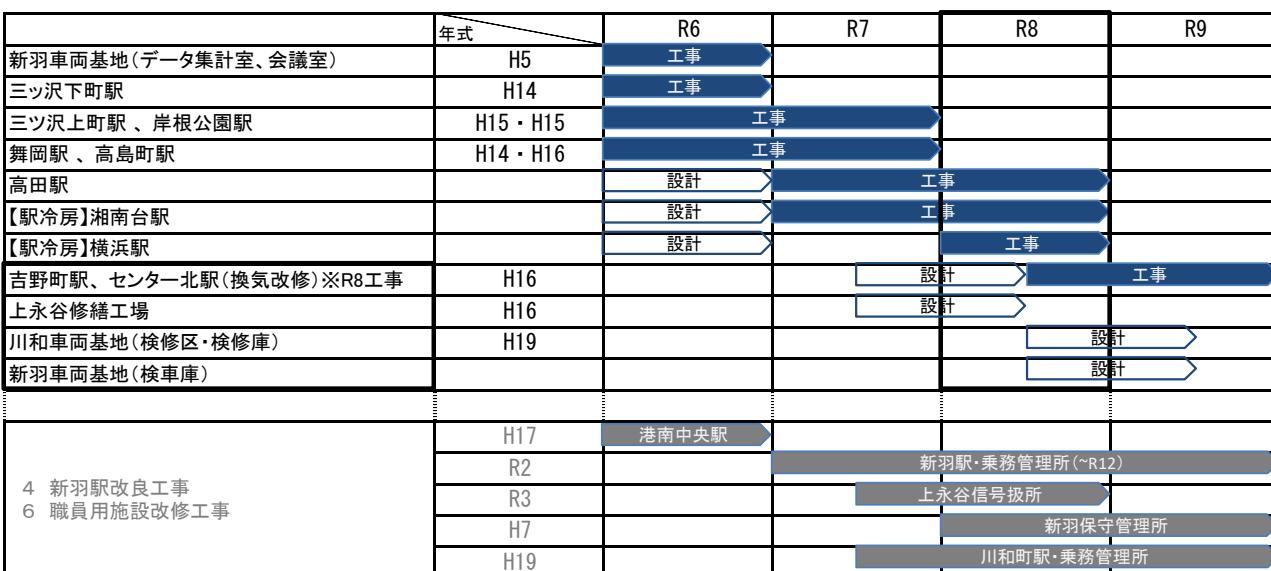
【事業内容】	8年度予算額
31 空調機更新工事(設計)	

(1) 事業目的・内容

駅などの空調は、事務室・仮眠室・券売機室・電気諸室及びホーム(駅冷房)といった使用用途によってゾーニングしており、各系統ごと施設の規模や特性に見合う空調方式にて冷暖房装置を設置しています。

各駅・関連施設の空調機は、設置から15年以上経過し、冷暖房能力が低下している機器が点在している状況です。また、各空調機に使用されている冷媒ガスは、オゾン層を破壊しないものの、温室効果が高い代替フロンであり、フロン排出規制法など、冷媒に対する規制が強化がされるなか、より環境負荷の低いフロンへの転換が求められています。

空調機の老朽化に伴う装置の停止によるお客様サービスの低下を防ぐため、施設単位での計画的な更新工事に係る改修設計を行います。



(2) 前年度から変更・見直しした点

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4) 除却資産の有無)

(5) 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6) 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	3,212					
債務負担設定	7,495					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
32 給湯設備更新工事	

(1 事業目的・内容)

現在設置されている浴室用給湯設備は、稼動から20年を迎えるものもあり、一般的な耐用年数である15年を越え、設備の劣化が進行しています。製造から長期間経過する機器は、給湯器メーカーの在庫保有も少なくなり、故障時の修理・整備に時間を要することになるため、劣化の著しい機器を優先し計画的な更新を行い各駅の給湯機能を確保するため更新工事を行います。

設計	場所	R6	R7	R8	R9
		川和車両基地 検修庫、洗浄線	—	—	—
工事	場所	川和基地総合事務所棟、保守区棟、上永谷 	上永谷基地修繕工場、検修区 	川和基地検修庫、洗浄線 	

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	82,228					
債務負担設定	68,984					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
33 気象観測装置更新工事	

(1 事業目的・内容)

気象観測装置は、市営地下鉄風水害対策設備のひとつであり、地震・風向風速・雨量及び温湿度の計測をリアルタイムで行っています。異常気象時には、運行を司る総合司令所へ警報を出し、地下鉄の安全運行を確保する重要な役割を担っています。当該設備は、感震器、発信器、変換器、制御盤といった主要機器を中心に構成され、制御・演算システムは、メーカー独自の技術が蓄積された設備となります。現在は、メーカーの耐用年数が経過しており、不具合が発生しています。よって、更新工事を行います。

駅名	7年度	8年度	9年度
川和町駅・総合司令所	工事		
下飯田駅・上永谷駅	工事	工事	
新羽駅・中川駅		工事	工事

※ 各駅更新機器: 風向風速計、地震計、雨量計、温湿度計、変換器、制御盤

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	15,940					
債務負担設定	15,730					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
34 除害施設更新工事	

(1 事業目的・内容)

新羽車両基地、上永谷車両基地検車区および、修繕工場に設置してある除害施設は鉄道車体及び台車洗浄後の汚水を下水に流せる水質にするため、物理的・化学的に処理をしています。

除害施設は設置から30年以上が経過し、老朽化が進んでいます。修理を行いながら運用してきましたが、交換修理をするための部品の入手性も悪くなっていることから、更新を行います。

場所	工程			
	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
新羽車両基地	発注・工事			
上永谷車両基地 上永谷検車区		発注・工事		
上永谷車両基地 修繕工場			発注・工事	

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	109,528					
債務負担設定	72,421					

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
35 換気塔消音パネル更新工事	

(1 事業目的・内容)

駅には1~2か所の換気塔を設け、新鮮な外気を導入し、コンコースやホームの換気を行っています。また、トンネル内の環境を維持するため、駅部より外気を導入し、駅間の中間部に設けた中間換気所から排出しています。

駅換気塔及び中間換気所は、換気送風機からの騒音を抑えるため、必要な大きさを確保し、周辺の環境基準に見合う消音装置を設置していますが、消音装置は各開業当初に設置されたもので老朽化が進み、一部脱落など著しい劣化状態にあり、部分的な補修での性能を維持することが困難なため、計画的に改修工事を行います。

	年式	R7	R8	R9	備考
片倉町駅、三ツ沢上町駅	S59	設計	工事		
高島町駅	S59		設計	工事	

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
36 換気塔消音パネル更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

駅には1~2か所の換気塔を設け、新鮮な外気を導入し、コンコースやホームの換気を行っています。また、トンネル内の環境を維持するため、駅部より外気を導入し、駅間の中間部に設けた中間換気所から排出しています。

駅換気塔及び中間換気所は、換気送風機からの騒音を抑えるため、必要な大きさを確保し、周辺の環境基準に見合う消音装置を設置していますが、消音装置は各開業当初に設置されたもので老朽化が進み、一部脱落など著しい劣化状態にあり、部分的な補修での性能を維持することが困難なため、計画的に改修工事に係る改修設計を行います。

	年式	R7	R8	R9	備考
片倉町駅、三ツ沢上町駅	S59	設計	工事		
高島町駅	S59		設計	工事	

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	6,710					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
37 中水配管更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下鉄駅舎間のトンネル内には、湧水を利用して駅のトイレで再利用するための中水配管が設置されています。しかしながら、トンネル内の漏水や経年劣化により配管の損傷が著しい状況です。現在、列車の運行を支障となるような漏水は発生していませんが、今後の漏水箇所によってはその恐れがあります。また、これまでに十数か所の補修を都度行ってきましたが、根本的な改善が必要であるため、今後の機能維持を含め改修設計を行います。

	年式	R7	R8	R9	備考
大谷中間ポンプ場から上大岡駅	H7	設 計	→	工 事	→

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	1,320					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【事業内容】	8年度予算額
38 給水配管更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地は、検車庫ほか車両検査業務を行う建物や洗車装置など広大な敷地内に点在した箇所に水道を配水しております。

各建物内の配管は設備改修時に更新していますが、水道本管からの引込み、基地内各所へ配水している配管は、昭和52年の完成当時のもので、近年水道管に使用されている管材に比べると腐食性に劣る管が敷設されています。

ここ数年で、管の老朽化による部分的な漏水の発生が確認され、今後、さびによる赤水の発生や大規模な破裂のおそれがあるため、耐食性のある配管に引き換える改修設計を行います。

	年式	R7	R8	R9	備考
上永谷車両基地	S51	設	計	工事	

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	1,663					
債務負担設定						

令和8年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建設改良課 課長名: 六渡 淳一

(単位:千円)			
	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額		77,000	

(単位:千円)	
【事業内容】	8年度予算額
1 関内駅前港町地区第一種市街地再開発事業に伴う関内駅第一出入口移設	

(1 事業目的・内容)

「関内駅前港町地区第一種市街地再開発事業」については、令和6年5月に都市計画決定、令和7年4月には組合設立認可がされています。再開発事業によって、市営地下鉄関内駅第一出入口のある場所には交通広場が整備される予定です。そのため、現在の市営地下鉄関内駅第一出入口及び換気塔は再配置する必要があります。再配置に必要な費用は再開発の事業者が負担することになりますが、諸施設の機能増強分にかかる費用については、交通局が負担するため、その必要な費用を予算計上するものです。



関内駅前港町地区第一種市街地再開発事業の整備イメージ

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無